平成26年度　事業報告及び決算

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部神奈川県済生会

目　次

1. 神奈川県済生会施設概要……P.1～

2. 決算概要報告……P.6

3. 支部事業報告……P.7 ～

4. 支部事業決算……P.12

5. 病院事業実績……P.14～

6. 病院収支決算……P.25～

7. 福祉施設事業報告及び決算…… P.36～

8. 居宅介護サービス施設事業報告及び決算……P.46～

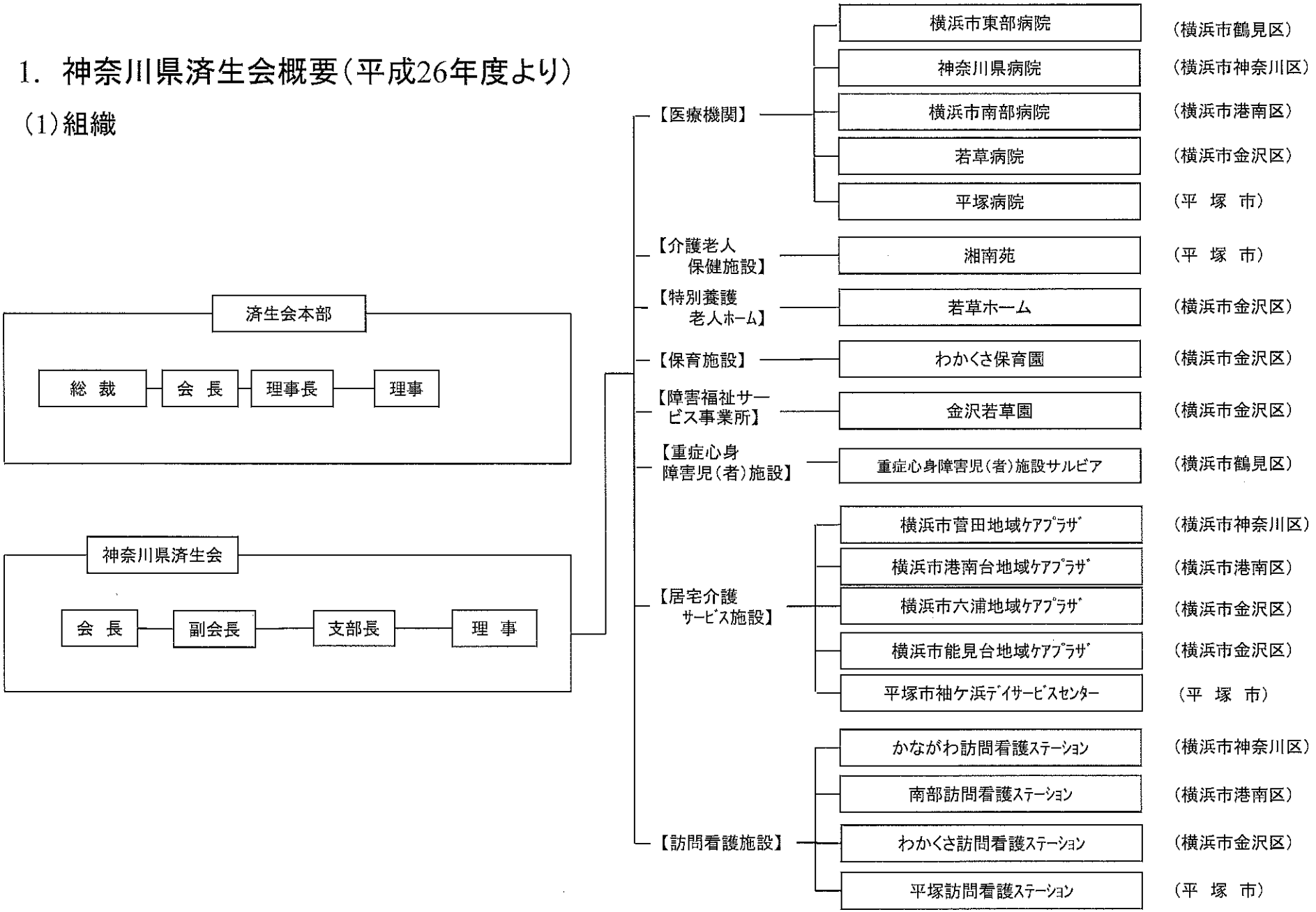
9. 訪問看護施設事業報告及び決算……P.49～

10.決算総括表……P.51

11.利益剰余金の状況……P.52

1. 神奈川県済生会概要（平成26年度より）

（1）組織



(2)施設概要(平成27年3月31日現在)

施設名	横浜市東部病院	神奈川県病院	横浜市南部病院	若草病院	平塚病院
所在地	横浜市鶴見区下末吉3丁目6番1号	横浜市神奈川区富家町6番地6	横浜市港南区港南台3丁目2番10号	横浜市金沢区平潟町12番1号	平塚市立野町37番地1号
設立	平成19年3月	大正2年9月	昭和58年6月	昭和24年3月	昭和9年4月
許可病床数	病床数516床	病床数187床	病床数500床	病床数199床	病床数114床
診療科目	内科・循環器科・消化器科・神経内科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・消化器外科・呼吸器科・呼吸器外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・精神科・救急科・放射線科・麻酔科・歯科口腔外科・病理診断科 (25科)	内科・神経内科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・リハビリテーション科・歯科口腔外科 (9科)	総合内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓高血圧内科、糖尿病・内分泌内科、神経内科、血液内科、循環器内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、心臓血管外科、緩和医療科、形成外科、救急診療科、病理診断科 (28科)	内科・循環器内科・消化器内科 神経内科・外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・肛門外科・婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・麻酔科 (15科)	内科・呼吸器内科・消化器内科 循環器内科・神経内科・外科 消化器外科・整形外科・リウマチ科 形成外科・皮膚科・脳神経外科 泌尿器科・リハビリテーション科 歯科口腔外科・放射線科・麻酔科 (17科

施設名	介護老人保健施設 湘南苑	特別養護老人ホーム 若草ホーム	保育施設 わかくさ保育園	障害福祉サービス事業所 金沢若草園	重症心身障害児(者)施設 サルビ
所在地	平塚市立野町37番地1号	横浜市金沢区平潟町12番1号	横浜市金沢区平潟町12番1号	横浜市金沢区平潟町12番2号	横浜市鶴見区下末吉3丁目6番1
設立	平成2年6月	昭和55年4月	昭和51年8月	昭和40年4月	平成19年4月
定員	入所54名・通所リハビリテーション30名	入所70名 短期入所7名 通所事業15名	60名	通所(多機能型)60名 短期入所6名 グループホーム12名	入所40名・短期入所4名

施設名	横浜市菅田地域ケアプラザ	横浜市港南台地域ケアプラザ	横浜市六浦地域ケアプラザ	横浜市能見台地域ケアプラザ	平塚市袖ケ浜デイサービスセンタ
所在地	横浜市神奈川区菅田町1718番地1	横浜市港南区港南台3丁目3番1号	横浜市金沢区六浦5丁目20番地2号	横浜市金沢区能見台東2番1号	平塚市袖ケ浜20番1号
設立	平成11年6月	平成6年11月	平成10年5月	平成13年9月	平成12年4月
概要	デイサービス定員55名	デイサービス定員25名	デイサービス定員40名	デイサービス定員40名	デイサービス定員25名

施　設　名	かながわ訪問看護ステーション	南部訪問看護ステーション	わかくさ訪問看護ステーション	平塚訪問看護ステーション
所　在　地	横浜市神奈川区立町6-1	横浜市港南区港南台3丁目11番29号	横浜市金沢区平潟町11番28号	平塚市立野町35番地8号
設　　立	平成10年9月	平成9年3月	平成8年10月	平成10年6月
概　　要	病院併設型訪問看護ステーション	病院併設型訪問看護ステーション	病院併設型訪問看護ステーション	病院併設型訪問看護ステーション

(3)職員の状況

平成27年3月31日現在

		構成職員数											
		常勤職員内訳									常勤計	非常勤計	合計
		医師	看護職	医療技術	保育士	労務職	事務職	福祉相談	福祉介護	その他技術			
支部事務局	常勤						5				5	0	
	非常勤												
横浜市東部病院	常勤	192	595	197	2	49	89	5	7		1136	129	126
	非常勤	63	47	7		6	6						
神奈川県病院	常勤	17	120	134			23	5	4		303	101	40
	非常勤	25	31	9		21	12			3			
横浜市南部病院	常勤	152	456	111	11	52	73	6			861	192	105
	非常勤	61	90	15	2	11	9			4			
若草病院	常勤	14	69	44		12	23				162	145	30
	非常勤	58	59	1		21	6						
平塚病院	常勤	10	60	39		20	18	2	2		151	86	23
	非常勤	33	27	3		9	14						
湘南苑	常勤	1	7	1			2	2	18		31	14	4
	非常勤		2	1					11				
若草ホーム	常勤		5	1			4	5	24		39	26	6
	非常勤	3	5			4	1	1	12				
わかくさ保育園	常勤			1	8	1	1				11	19	3
	非常勤				11	7	1						
金沢若草園	常勤						3		13		16	19	3
	非常勤						1		18				
重症心身障害児(者)施設サルビア	常勤	3	26		4	2	2	1	11		49	3	5
	非常勤	1	2										
かながわ訪問看護ステーション	常勤		6	1							7	17	2
	非常勤		5	8			4						
南部訪問看護ステーション	常勤		8	1			5				14	23	3
	非常勤		17			5	1						
わかくさ訪問看護ステーション	常勤		5				1				6	6	1
	非常勤		4	2									
平塚訪問看護ステーション	常勤		5					2			7	1	
	非常勤							1					

		構成職員数											
		常勤職員内訳									常勤計	非常勤計	合計
		医師	看護職	医療技術	保育士	労務職	事務職	福祉相談	福祉介護	その他技術			
横浜市菅田地域ケアプラザ	常勤		2				3	5	4		14	42	5
	非常勤		5				5		32				
横浜市港南台地域ケアプラザ	常勤		1				2	6	2		11	34	4
	非常勤		5			2	1	9	17				
横浜市六浦地域ケアプラザ	常勤		1				3	5	4		13	43	5
	非常勤		6				5	3	29				
横浜市能見台地域ケアプラザ	常勤		1				4	5	3		13	52	6
	非常勤		9				6	3	22	12			
平塚市袖ケ浜デイサービスセンター	常勤		1					2	2		5	10	1
	非常勤		1				1		8				
平成26年度合計		633	1,683	576	38	222	334	68	243	19	2,854	962	3,81
平成25年度合計		627	1,584	545	38	262	347	64	260	6	2,711	1,022	3,73
前年度比増減		6	99	31	0	▲ 40	▲ 13	4	▲ 17	13	143	▲ 60	8

兼務者一覧

	医師	看護職	医療技術	保育士	労務職	事務職	福祉相談	福祉介護	その他技術	合計
湘南苑		1	1		1	2				5
平成26年度合計	0	1	1	0	1	2	0	0	0	5
平成25年度合計	1	1	1		1	2				6
前年度比増減	▲ 1	0	0	0	0	0	0	0	0	▲ 1

2.決算概要報告(平成 26 年度)

少子高齢化や、厳しい財政状況を背景として社会のさまざまな制度が見直されておりますが、社会保障制度の根幹を成す医療・福祉の面におきましてもさまざまな改革が進められており、各施設におきましては常にその動向を適確に捉え方向を見定めた経営運営が求められております。

医療の面では、取り巻く厳しい経営環境を乗り切るため、より一層の効率的な運営が求められている状況下において、当支部では 5 病院中 3 病院が黒字決算、2 病院が赤字決算となりました。横浜市東部病院が 9 億円、横浜市南部病院が 9 千 6 百万円、若草病院が約 2 千 3 百万円の黒字決算でした。神奈川県病院は▲3 億 7 千 8 百万円と病院建替にかかる費用の増加、平塚病院は約▲8 千 3 百万円と、医師確保に難渋し、医業収益が伸びなかった為、赤字決算となりました。

また、福祉の分野におきましては、事業内容の改善や充実を行うとともに運営方法や諸費用の見直し等を行うなどの努力をした結果、概ね黒字決算となったところであります。

決算総体としては、26 年度実績を約▲1 億円下回ったものの、通算で 6 期連続の黒字化を達成することができました。平成 26 年度は、診療報酬の実質的なマイナス改定による減収と消費税増税による支出増によって、厳しい財務状況となりました。これらのマイナス要因に怯むこと無く、累損の縮小に向けた更なる収支改善に取り組み、支部一丸となって邁進する所存です。

3. 支部事業報告

① 理事会開催状況

開催年月日	議案	
平成 26 年 5 月 19 日	1) 平成25年度事業報告及び決算(案)について 2) 横浜市南部病院の済生会本部への定款変更申請について	3) 恩賜財団済生会会則の変更について 報告事項
平成 26 年 9 月 2 日	1) 平成26年度施設整備計画の変更・追加について 2) 平成26年度予算の補正について	報告事項
平成 26 年 12 月 2 日	1) 若草ホームの済生会本部への定款変更申請について 2) 施設長の交代について	報告事項
平成 27 年 3 月 3 日	1) 平成27年度事業計画及び予算(案)について 2) 平成27年度施設整備計画について 3) 平成27年度資金借入に係る済生会本部への承認申請について	4) 施設長の交代について 報告事項

② 監事監査開催状況

開催年月日	議案
平成 26 年 5 月 8 日	平成25年度事業報告及び決算(案)について

③ 支部運営委員会開催状況

理事会の付議事項、支部の業務運営に関する重要案件や施設間で調整を要する共通事項について協議した。

開催年月日	協議内容	
平成 26 年 5 月 8 日	1) 支部理事会議案について(5月19日開催) 2) 若草病院に対する「神奈川県済生会支部財政調整基金」からの貸出について	3) その他
平成 26 年 7 月 10 日	1) 平成26年度施設整備計画の変更・追加について 2) 内部通報制度について	3) 若草病院、平塚病院の経営改善計画について 4) その他
平成 26 年 8 月 28 日	1) 支部理事会議案について(9月2日開催)	報告事項
平成 26 年 11 月 13 日	1) 支部理事会議案について(12月2日開催) 2) 若草病院に対する神奈川県済生会支部財政調整基金貸付からの貸出について 3) 平塚病院に対する神奈川県済生会支部財政調整基金貸付からの貸出について	4) 神奈川県済生会役員定年規程の申合せ事項 報告事項
平成 27 年 1 月 8 日	1) 平成27年度予算について	2) その他
平成 27 年 2 月 16 日	1) 支部理事会議案について(平成27年3月3日開催) 2) 若草病院に対する神奈川県済生会支部財政調整基金貸付からの貸出について 3) 平塚病院に対する神奈川県済生会支部財政調整基金貸付からの貸出について	4) 神奈川県済生会の給与改定について 報告事項

④ 支部運営委員会専門部会開催状況

支部運営委員会に次の専門部会を設け、専門的に協議、連絡調整を行った。

ア. 病院長会

開催年月日	協議内容	
平成 26 年 4 月 9 日	1) 支部長会の概要について	4) 施設長の任免に関する手続きについて
	2) 湘南苑の事業について	5) その他
	3) 平塚病院への派遣医師への感謝状授与について	
平成 26 年 6 月 17 日	1) 湘南苑の事業について(継続審議)	3) その他
	2) 若草病院の今後について	報告事項
平成 26 年 8 月 20 日	1) 平成26年度施設整備計画の変更・追加について	4) 施設運営委員会規則第2条第1項第9号に係る施設の指定等について(平塚病院)
	2) 平成26年度予算の補正について	5) その他
	3) 施設運営委員会規則第2条第1項第11号に係る施設の指定等について(若草病院)	報告事項
平成 26 年 9 月 17 日	1) 本部施設運営委員会における若草病院に関する議論について	2) その他
平成 26 年 10 月 14 日	1) 施設運営委員会の審議事項について	3) 平成27年度の施設整備計画について
	2) 平塚病院の新病院建設に係る土地基本協定書について	4) その他
平成 26 年 12 月 24 日	1) 平成27度の施設整備計画について	3) その他
	2) 平塚病院の新病院建設に係る土地基本協定書について(続報)	
平成 27 年 1 月 27 日	1) 横浜市地域ケアプラザ指定管理に係る書類の提出について	報告事項

イ. 病院事務部(局)長会

開催年月日	協議内容	
平成 26 年 4 月 24 日	1) その他	報告事項
平成 26 年 5 月 29 日	1) 無料低額診療事業について	4) 医療と介護の連携の推進について
	2) 会計関係マニュアルの策定及び寄附金の取扱に関する勉強会開催計画立案について	報告事項
	3) 病院薬剤師合同就職説明会について	
平成 26 年 6 月 26 日	1) 平成26年度施設整備計画の変更・追加について	報告事項
	2) 会計関係マニュアルの策定及び寄附金の取扱に関する勉強会開催計画立案の進捗状況について	
平成 26 年 7 月 25 日	1) SAM監査の報告について	報告事項
	2) 平成25年度支部監事監査改善事項に対する改善状況報告について	
平成 26 年 8 月 26 日	1) 医師調整手当について	報告事項
平成 26 年 9 月 25 日	1) 無料低額診療事業の現状について	報告事項
	2) 経理事務担当者の人事異動に関する基準について	
平成 26 年 10 月 29 日	1) 神奈川県のホームレス巡回相談事業について	報告事項
	2) 支部連携健康診断について(横浜市中区寿町)	
平成 26 年 11 月 26 日	1) 平成26年度業務監査実施結果と改善状況報告書提出について	報告事項
	2) 平成27年度施設整備計画について	
平成 26 年 12 月 25 日	報告事項	
平成 27 年 1 月 28 日	1) 神奈川県済生会給与表の改定について	報告事項
平成 27 年 2 月 26 日	報告事項	
平成 27 年 3 月 26 日	1) 「フロン排出抑制法」に関する取組方針について	報告事項

ウ. ケアプラザ・デイサービスセンター所長会

開催年月日	協議内容	
平成 26年 4月 18日	1) 第3期指定管理者選定に向けて	3) 事業実績評価について(横浜市)
	2) 包括外部監査報告書について(横浜市)	4) その他
平成 26年 6月 20日	1) 第3期指定管理者選定に向けて(依頼)	5) 医療・介護推進法案について
	2) 施設内転倒事故の防止について(依頼)	6) 地域ケアプラザにおける災害時の対応について
	3) 介護保険関係各種届出に関する要件確認の徹底等について(依頼)	7) その他
	4) 南部エリアにおける医療・介護の連携プロジェクトの設置について(報告)	
平成 26年 8月 21日	1) 第3期指定管理者選定への対応について	2) その他
平成 26年 9月 19日	1) 第3期指定管理者選定への対応について	3) その他
	2) 特別避難場所開設・運営マニュアルについて	
平成 26年 10月 31日	1) 地域ケアプラザの運営に係る基本方針の制定について	4) 特別避難場所開設・運営マニュアルについて
	2) 地域ケアプラザ指定管理スケジュールについて	5) その他
	3) 地域ケアプラザ指定管理・事業計画書について	
平成 26年 12月 10日	1) 地域ケアプラザ指定管理スケジュールについて	3) 特別避難場所(福祉避難所)の運営体制の準備について
	2) 地域ケアプラザ指定管理・事業計画書について	4) その他
平成 27年 1月 16日	1) 指定管理スケジュールの確認について	4) 地域ケアプラザ指定管理・事業計画について
	2) 応募書類提出作業分担について	5) プレゼンに向けての準備について
	3) 応募説明会の申込み及び質問書の提出内容について	6) 特別避難所(福祉避難所)の運営体制の準備について
平成 27年 2月 13日	1) 地域ケアプラザ指定管理応募関係書類の確認について	4) 今後の地域ケアプラザ・デイサービスセンターのあり方について
	2) プレゼンに向けての準備について	5) 特別避難場所(福祉避難所)の相互応援体制について
	3) 介護報酬の改定について(情報交換)	6) その他
平成 27年 3月 12日	1) 地域ケアプラザ指定管理応募関係 プレゼンに向けての準備について	3) その他
	2) 東本郷地域ケアプラザの再公募について	

エ. ケースワーカー部会

開催年月日	協議内容	
平成 26年 4月 11日	1) 無料低額診療について	3) その他事業について
	2) なでしこプランの研修事業について	
平成 26年 5月 9日	1) 医療福祉事業関連	3) その他
	2) なでしこ研修について	
平成 26年 6月 13日	1) 無料低額診療事業関連	3) その他
	2) なでしこプラン	
平成 26年 7月 11日	1) MSW関東ブロック会のふりかえり	3) なでしこ研修
	2) 横浜市監査について	4) なでしこ事業
平成 26年 8月 8日	1) 平成25年度分の無料低額診療事業監査について	3) なでしこ研修
	2) 検診車	4) なでしこプラン事業について
平成 26年 9月 12日	1) 医療福祉事業関連	2) なでしこ研修について
平成 26年 10月 10日	1) 神奈川県済生会寿検診事業関連	3) その他
	2) なでしこ研修関連	
平成 26年 11月 7日	1) 神奈川県済生会寿町検診事業	3) 無料低額診療事業について
	2) なでしこ研修	4) 全国社会福祉大会
平成 26年 12月 12日	1) なでしこ検診事業について	3) 無料低額診療事業について
	2) なでしこ研修について	4) その他
平成 27年 1月 9日	1) 医療福祉事業関連	3) その他
	2) なでしこ研修について	
平成 27年 2月 13日	1) 神奈川県済生会寿検診事業関連	3) その他
	2) なでしこ研修関連	
平成 27年 3月 6日	1) 寿地区無料健康診断のふりかえり	3) 済生会MSW全員での懇親会
	2) なでしこ研修	4) その他

オ. 診療資機材購買部会

開催年月日	協議内容	
平成 26 年 6 月 23 日	1) 各部会等進捗状況について	5) 医療協での 共同購入の取り組みについて
	2) 共同購入案件について	6) 神奈川県済生会支部診療資機材購買委員活動予定について
	3) 診療報酬改定に伴う償還材料の交渉ついて	7) その他
	4) H26年度神奈川県済生会共同購入について	
平成 26 年 11 月 17 日	1) 東京・神奈川 7病院 SPD扱い商品の共同交渉結果について	4) 医療協での共同購入取り組みについて
	2) 平成 26 年度集中購買事務部会ブロック代表議内容について	5) その他
	3) 第 11 回 済生会関東地区購買担当者議について	

カ. 栄養士部会

開催年月日	協議内容	
平成 26 年 10 月 3 日	1) 共同購入について	3) その他
	2) 診療報酬改定後の経口補水液(OS-1、GFO等)の扱いについて	
平成 27 年 1 月 16 日	1) 共同購入について	3) 次年度 本会目標について
	2) 各病院栄養科状況報告	
平成 26 年 3 月 20 日	1) 済生会支部神奈川県済生会5病院患者給食使用食品共同購入につ	3) 共同研究等次年度の活動予定について
	2) 全国済生会栄養士・管理栄養士会 関東地区会について	4) その他

キ. 実務担当者会議

事務部門における施設間の連絡調整や共通事項について協議を行った。

開催年月日	協議内容
平成 26 年 4 月 9 日	薬剤部部門長連絡協議会(第6回) *管下5病院薬剤部門長
平成 26 年 4 月 16 日	人事役職者会議(第7回) *管下5病院人事役職者
平成 26 年 5 月 14 日	薬剤部部門長連絡協議会(第7回) *管下5病院薬剤部門長
平成 26 年 5 月 30 日	薬剤部部門長連絡協議会(第8回) *管下5病院薬剤部門長
平成 26 年 7 月 9 日	薬剤部部門長連絡協議会(第9回) *管下5病院薬剤部門長
平成 26 年 7 月 16 日	横浜市地球温暖化実施状況報告書作成提出に係る打合わせ *横浜市内4病院担当者
平成 26 年 7 月 18 日	人事役職者会議(第8回) *管下5病院人事役職者
平成 26 年 8 月 13 日	薬剤部部門長連絡協議会(第10回) *管下5病院薬剤部門長
平成 26 年 9 月 17 日	人事役職者会議(第9回) *管下5病院人事役職者
平成 26 年 9 月 30 日	SAM監査対応実務者協議会 *管下施設実務担当者
平成 26 年 10 月 16 日	薬剤部部門長連絡協議会(第11回) *管下5病院薬剤部門長
平成 26 年 10 月 24 日	薬剤師DI担当者連絡協議会(第1回) *管下5病院薬剤部門担当者
平成 26 年 11 月 18 日	人事役職者会議(第10回) *管下5病院人事役職者
平成 26 年 12 月 10 日	薬剤部部門長連絡協議会(第12回) *管下5病院薬剤部門長
平成 26 年 12 月 11 日	薬剤師DI担当者連絡協議会(第2回) *管下5病院薬剤部門担当者
平成 27 年 1 月 21 日	人事役職者会議(第11回) *管下5病院人事役職者
平成 27 年 2 月 4 日	薬剤部部門長連絡協議会(第13回) *管下5病院薬剤部門長
平成 27 年 2 月 9 日	SAM監査対応対応推進者会議(第1回) *管下施設SAM監査対応推進者
平成 27 年 2 月 12 日	薬剤師DI担当者連絡協議会(第3回) *管下5病院薬剤部門担当者
平成 27 年 2 月 26 日	SAM監査対応対応推進者会議(第2回) *管下施設SAM監査対応推進者
平成 27 年 3 月 19 日	SAM監査対応対応推進者会議(第3回) *管下施設SAM監査対応推進者

ク. 医療と介護連携プロジェクト会議

開催年月日	協議内容
平成 26 年 7 月 1 日	医療・介護連携プロジェクト会議(全体会) *管下施設担当者
平成 26 年 7 月 31 日	医療・介護連携プロジェクト会議(作業部会) *管下施設担当者
平成 26 年 8 月 27 日	医療・介護連携プロジェクト会議(作業部会) *管下施設担当者
平成 26 年 10 月 16 日	医療・介護連携プロジェクト会議(全体会) *管下施設担当者
平成 26 年 11 月 17 日	医療・介護連携プロジェクト会議(作業部会) *管下施設担当者
平成 26 年 12 月 17 日	医療・介護連携プロジェクト会議(作業部会) *管下施設担当者
平成 27 年 2 月 3 日	医療・介護連携プロジェクト会議(全体会) *管下施設担当者
平成 27 年 3 月 5 日	医療・介護連携プロジェクト会議(作業部会) *管下施設担当者
平成 27 年 3 月 25 日	医療・介護連携プロジェクト会議(全体会) *管下施設担当者

⑦ 職員研修実施状況

研修会(支部主催)

実施日 ： 平成26年8月7日(木)
講　師 ： ㈱川原経営総合センター 経営コンサルテイング部門　神林 佑介
演　題 ： 社会福祉法人のコンプライアンスに関する研修(管理者向け)

実施日 ： 平成27年2月5日(木)
講　師 ： ㈱川原経営総合センター 経営コンサルテイング部門　神林 佑介
演　題 ： 社会福祉法人のコンプライアンスに関する研修(初級・中堅職員向け)

実施日 ： 平成26年9月25日(木)
講　師 ： 有限監査法人トーマツ 東京事務所 ヘルスケアコンサルティング　高井 陽介
演　題 ： 「管理者階向け内部統制研修」

実施日 ： 平成26年10月2日(木)
講　師 ： 有限監査法人トーマツ 東京事務所 ヘルスケアコンサルティング　高井 陽介
演　題 ： 「現金等会計処理マニュアル及び内部統制マニュアル研修」

実施日 ： 平成26年10月9日(木)
講　師 ： 有限監査法人トーマツ 東京事務所 ヘルスケアコンサルティング　高井 陽介
演　題 ： 「未収金会計処理マニュアル及び内部統制マニュアル研修①」

実施日 ： 平成26年10月16日(木)
講　師 ： 有限監査法人トーマツ 東京事務所 ヘルスケアコンサルティング　高井 陽介
演　題 ： 「未収金会計処理マニュアル及び内部統制マニュアル研修②」

実施日 ： 平成26年10月23日(木)
講　師 ： 有限監査法人トーマツ 東京事務所 ヘルスケアコンサルティング　高井 陽介
演　題 ： 「未収金会計処理マニュアル及び内部統制マニュアル研修③」

実施日 ： 平成27年2月17日(火)
講　師 ： 有限監査法人トーマツ アドバイザリー事業本部 パブリックセクター ヘルスケア部 東京事務所 公認会計士 梁瀬 亮
演　題 ： 「社会福祉法人会計基準移行に向けたキックオフ研修」

実施日 ： 平成27年3月11日(水)
講　師 ： 有限監査法人トーマツ アドバイザリー事業本部 パブリックセクター ヘルスケア部 東京事務所 公認会計士 梁瀬 亮
演　題 ： 「新会計基準移行に向けた質疑応答主体の研修」

実施日 ： 平成27年3月25日(水)
講　師 ： 有限監査法人トーマツ アドバイザリー事業本部 パブリックセクター ヘルスケア部 東京事務所 公認会計士 梁瀬 亮
演　題 ： 「新会計基準移行に伴う研修(リース会計)」

看護職員研修会(5病院看護部主催)

実施日 ： 平成26年5月31日(土)
講　師 ： 神奈川県済生会支部長　正木 義博
演　題 ： 「マネジメントについて学ぶ」

実施日 ： 平成26年5月31日 (土)
講　師 ： 神奈川県済生会常務理事　堀内　茂実
演　題 ： 「済生会の使命と役割」

実施日 ： 平成26年7月12日 (土)
講　師 ： (独)国立精神・神経医療研究センター　流動研究員　伊吹 友秀
演　題 ： 「医療における倫理」

実施日 ： 平成26年8月9日(土)
講　師 ： 済生会横浜市南部病院院長補佐　陣田 泰子
演　題 ： 「看護サービスの質管理-臨床現場の看護を概念化すること-」

実施日 ： 平成26年9月13日(土)
講　師 ： 日本経済大学大学院教授　赤瀬 朋秀
演　題 ： 「医療における倫理」

実施日 ： 平成26年9月20日(土)
講　師 ： 聖路加国際大学事務部長　渡辺 明良
演　題 ： 「医療サービスの質管理」

実施日 ： 平成26年10月18日(土)
講　師 ：
演　題 ： 「リスクマネジメント-医療安全とチームづくり-」

実施日 ： 平成26年11月19日 (土)
講　師 ： 株式会社サフィール　代表取締役　河野 秀一
演　題 ： 「戦略を考えるマネジメントツール 目標管理でマネジメント」(病院経営セミナー第3回と共催)

実施日 ： 平成26年12月13日(土)
講　師 ： 東京有明医療大学看護学部看護学科長　金井Pak 雅子
演　題 ： 「リーダーシップとエンカウンター -チームを動かす-」

4. 支部事業決算

(1) 支部事務局一般会計

(単位:千円)

	平成26年度決算額		前年度	前年比増減		平成26年度決算額		前年度	前年比増減
収入	支部費収入	112,723	106,218	6,505	支出	本部運営金	94,896	89,424	5,472
	本部運営金収入	94,890	89,418	5,472		運営費用	91,983	69,764	22,219
	その他の医業収益	788	767	21		雑損失	2,468	2,410	58
	その他の医業外収益	2,067	3,733	▲ 1,666		医業外費用	371	0	371
	受取利息配当金	15	14	1					
	特別利益	0	1,495	▲ 1,495		特別損失	0	448	▲ 448
	当期損失		0	0		当期利益	20,765	39,599	▲ 18,834
	収入計	210,483	201,645	8,838		支出計	210,483	201,645	8,838
収支差額		**20,765**	**39,599**	**▲ 18,834**					

(2) 財政調整基金(特別会計)

経営改善等の資金を円滑に供給し、支部内各施設の相互協力関係の醸成と一体的発展を図ることを目的に積立てを実施した。

	平成26年度決算額		前年度	前年比増減		平成26年度決算額		前年度	前年比増減
収入	財政調整基金収入	17,223	16,264	959	支出	雑費	5	4	1
	財政調整基金収入(資金移動分)	39,599	33,919	5,680					
	若草病院支援資金移動に伴う手数料	4	9	▲ 5					
	受取利息	201	244	▲ 43					
	特別利益		0	0		特別損失		0	0
	当期損失		0	0		当期利益	57,022	50,432	6,590
	合計	57,027	50,436	6,591		合計	57,027	50,436	6,591
収支差額		**57,022**	**50,432**	**6,590**					

(3) 職員医療共済事業(特別会計)

職員の健康と福利厚生に資することを目的として、施設と職員の相互扶助事業として実施した。

	平成26年度決算額		前年度	前年比増減		平成26年度決算額		前年度	前年比増減
収入	医療共済事業収入	49,479	47,315	2,164	支出	見舞給付金	49,119	48,394	725
	受取利息配当金	406	406	0		雑賞	19	17	2
	特別利益	0	0	0		特別損失			0
	当期損失		690	▲ 690		当期利益	747	0	747
	合計	49,885	48,411	1,474		合計	49,885	48,411	1,474
収支差額		**747**	**0**	**747**					

(4) 収益事業特別会計(平成24年度より)

駐車場会計

収入	平成26年度決算額		前年度	前年比増減
	賃借料等収入	1,902	1,723	179
	受取利息	0	0	0
			0	0
			0	0
			0	0
			0	0
			0	0
	当期損失		656	▲ 656
	合　　計	1,902	2,379	▲ 477
収支差額		0	2,379	▲ 2,379

支出	平成26年度決算額		前年度	前年比増減
	光熱水費	2	2	0
	修繕費	0	20	▲ 20
	租税公課	800	857	▲ 57
	委託費	100	85	15
	その他(本・支部費)	20	0	20
	一般会計繰入金	980	0	980
	特別損失	0	1,415	▲ 1,415
	当期利益		0	0
	合　　計	1,902	2,379	▲ 477

5. 病院事業実績

(1)病院事業報告

【横浜市東部病院】
○ 平成26年度は「地域医療を支え、目標とされる高度急性期病院になろう ～県病院との一体運営の確立～」というビジョンに対して、スローガンを「チーム医療の進化・深化・真化」と定め一丸となって事業を展開した。
「地域がん診療連携拠点病院」の指定(平成26年8月6日～平成30年8月6日)
平成26年8月に国が指定する「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受け、開院時から取り組んできたがん診療に対して一定の評価を得ることができた。
「横浜市重症外傷センター」の指定(平成26年10月1日)
平成26年10月1日、横浜市内の外傷診療拠点として24時間365日交通外傷などの重症外傷の受け入れ、緊急手術などの救命措置、その後の複数回行われる整形外科的手術にも対応可能な「横浜市重症外傷センター」の指定を受けました。

「手術室」の増設(平成26年8月21日)
平成26年8月21日、横浜市重症外傷センター指定を受けるための整備として、重症外傷患者を迅速に手術や処置が行なえる手術室を1室増設した。
(手術室合計12室 内ハイブリッド手術室1室)
「HCU病床」6床増床(平成26年10月1日)
平成26年10月1日、当院が高度急性期医療および重症患者治療をより行える体制の整備としてHCU病床を6床増床した。
「 行動計画への取組み」
病院のﾋﾞｼﾞｮﾝ、スローガンに基づき、BSCの視点に質の視点を加た下記の5つの視点から行動計画を立て、地域医療機関と連携をしながらﾋﾞｼﾞｮﾝの実現を目指した。

1.互いに育成し合う東部医療人(学習と成長)
(1)職種の枠を超えた人材育成を行うため、これまで主として新入職員を対象に行われていた多職種共通の教育を発展させ、階層別教育という形で充実させ、社会人としてのモラル、コンプライアンスに関する研修を実施した。
(2)職責ランク(等級)の定義を分かり易い内容に改正した。これにより昇格基準における職種間(医師を除く)の標準化を図った。
2.高度急性期医療の更なる深化(業務プロセス)
(1)手術件数の増加は、高度急性期病院を目指す当院にとって、最も重要な要素である。手術室の効率的なマネジメントを行った結果、手術件数の増加、手術室稼働率を向上させることが出来た(333件増/年、昨年比:5.5%増)。
(2)高度救急を実践する施設として「横浜市重症外傷センター」の指定を受け、これまで以上に救急隊や近隣医療機関との相互理解と連携強化を推進し、高度救急を確実に受け入れる体制を作り、受け入れた患者はチーム医療で対応する仕組みを整備した。
(3)地域完結型医療に向けた神奈川県病院との診療一体化を行うため、県病院との医局の一体化による診療の継続、両院の電子カルテを参照可能にしたシステム環境整備、人材交流の促進による業務の効率化、県病院への転院患者を増加させた。

3.情報の有効利用(質の向上)
(1)医療の質および医療機関を評価する尺度など、重要な要因になっていくことが予想されるため、「医療の質データ活用委員会」において、医療の質データと治療成績についての審議を行い、ホームページでの公開を行った。
(2)「広報推進室」とメディアとの連携を深めるために、新聞社・テレビ局などに出向くなどの広報活動を行い、その結果メディア露出件数を増加させることが出来た。
4.顧客の安心と信頼の追求(顧客)
(1)地域の医療機関から選ばれる病院をめざし、「第1回登録医の会」を開催するなど会話の機会を増やし、地域医療機関との連携強化に努めた。
(2)引き続き、市民公開講座や健康教室をより多く開催した。また、災害医療訓練においては、行政、地域医療機関、地域住民の参加協力が得られ、当院の機能を理解してもらう機会にもなった。
5.県病院との一体化を支える財務(財務)
(1)将来の安定的経営のための収益を確保するため、神奈川県病院と連携を図りながら長期入院患者の減少とベッドの有効活用に努め、平均在院日数を短縮させ新規入院患者を増加させた。また、手術件数の増加により、入院診療単価が上昇した。今年度は実質1.26%のマイナス改定や消費増税による費用の増加があったものの、約9億円の純利益を確保することが出来た。

【神奈川県病院】
平成26年度は、中期ビジョン(「良質な地域完結型医療のモデルケースを東部病院と共に構築する」)を実現するために、平成26年度のスローガンを「見せましょう！医の技術と癒しの心を～次の100年に向けての基盤づくり～」と定め、事業展開を図った。

1. 収支概要
患者数については、入院は、病床利用率は全体で98.2%を記録し、年間を通じて満床状態を維持した。また、外来も平成25年度より若干増加したが、320人/日を超えた。
診療単価については、外来は平成25年度と比べるとわずかに減少したが、入院は1,700円増加した。
以上の結果、医業利益は540万円の黒字を確保できたが、新棟建設に向けて本館解体が始まり、その解体に伴う解体費用及び固定資産の除却が発生したため、当期純利益は3億8,000万円の赤字となった。
2. 職員の満足度向上に向けた体制の確立(学習と成長の視点)
①チーム医療精神の醸成
院内での短期相互研修、他職種合同勉強会などを行った。
②風通しのいい職場づくり
東部病院との合同研修・職員交流を積極的に行い、情報共有を徹底した。
③地域医療を支えるための人材確保
より重症度の高い患者に対応するため、人材の確保・教育を行った。
④キャリアアップへのサポート
相応の研究研修予算を確保し、より積極的な学会発表を促した。
⑤人事評価制度の土台作り
目標管理に関する研修会を実施し、個人ごとの目標管理制度を検討するため教育委員会を設置した。
⑥互助会・福利厚生の充実
職員ニーズにあった互助会制度の検討を始めた。
3. 地域医療のトータルケア体制の構築(業務プロセスの視点)
①診療科の一体化による病床の有効活用
回復期病棟の1病棟を、一般(亜急)病床に区分変更して、東部病院の患者受け入れ増を図ることで、診療単価の高い東部病院のベッド有効利用に繋げた。
また、積極的な患者の受け入れの為に、東部病院から神奈川県病院への連携パスの作成や病床管理室の機能をさらに強化し、東部病院を含めたベッドコントロールを行った。
②一体化した東部病院と地域医療のゲートとしての役割強化(トリアージの入口、地域(在宅)への出口)
緊急入院ベッドの確保を行い、神奈川県病院、東部病院間を往復するシャトルバスの運行、神奈川県病院のCT、MRIの有効利用、フットケア外来の新設などを行った。
③情報共有ツールの整備
新棟竣工前の電子カルテを導入により、スムーズな診療を開始することを非常に重要と捉え、27年1月から電子カルテを導入した。
また、東部病院との患者情報の共有、業務の効率化を図るためのプロジェクトを立ち上げた。
④ワンランク上のリハビリテーションの提供
回復期の患者、急性期を脱してきた患者に対して、クリニカルパスを利用して早期にリハビリに介入し、早期回復と早期社会復帰へ繋げた。
リハビリテーション病棟は脳血管疾患に特化し、さらに質を高めてブランドを確立できた。
4. 相手の立場に立った医療の提供(顧客の視点)
①患者さんに優しい医療の提供(患者)
患者さんに安心して入院生活を送って頂くため、クリニカルパスを作成し、その運用数を増やした。
また、疾患への理解を深めてもらうために疾患説明書を作成した。
②地域医療機関ニーズの掘り起こし(地域医療機関)
後方施設の開拓を行っていくため、地域の医療機関への訪問も積極的に行った。
③適切な情報発信と社会貢献(地域住民)
さらに当院のことを地域の方に知ってもらうため、現状の診療を反映したホームページの作成、更新を行い、東部病院との一体運営についてもアピールした。
また、地域住民の方の健康増進という観点から、現在も 行っている糖尿病教室、腎臓病教室などに加え、脳卒中教室なども実施した。
5. 長期的視点に立った経営基盤の確立(財務の視点)
①一体運営の可視化
以前から神奈川県病院と東部病院は一体運営を目指し、様々な取り組み・改善を実施してきたが、収支の数字面も合算した一体運営の可視化に向けた検討を開始した。

【横浜市南部病院】
診療報酬改定や消費税増税が行われた平成26年度は、南部病院にとって30年を区切りとした新たな1年目ということを念頭に、「南部病院の『強み』を活かし、より強固な地域連携のもと、良質な医療機能の充実を図る」という行動目標を設定した。特に、看護師をはじめ医療スタッフの確保と定着を最優先課題として、早期の全床開床に繋げるとともに、病床機能報告制度をはじめとした国の政策動向に的確に対応し、将来にわたる強靭な体制の確立を目指した取組みを進めてきた。
経営的には、年度の初めから計画的に開いてきた病床が11月にフルオープンしたこともあり、平均で81.2%だった10月までの病床利用率が11月以降は87.7%となった。しかし、診療単価の低迷により収益の伸びが不十分だった反面、増員に伴う人件費増や消費税増税による材料費・経費・委託費等の増加をカバーすることができず、最終的に増収減益となった。
ハード面の整備としては、生理機能検査室や内視鏡検査室の改修、NICUの整備等を行い、更なる医療の質の向上を目指した。
病院再整備に関しては、事務レベルで実施してきた横浜市との協議を拡大し、両者委員会の開催に至った。その中では、コンサルタントを選定して実施してきた現地建替えの可能性を探るためのシミュレーション検討結果を基に、当院の再整備に関する今後の方向性について議論を行った。

1. 地域中核病院・済生会病院としての責務遂行
①地域中核病院としての更なる4事業(救急・災害・周産期・小児)強化
・「断らない救急」を目指し救急車受入件数が増加。
・災害拠点病院として神奈川DMAT指定病院へ正式に指定されたと同時に近隣の二次救急病院との合同訓練を実施。
・産科拠点病院としてNICUを整備。
②済生会としての責務遂行
・済生会グループによる医療-福祉-介護の連携推進のため支部主催の連携会議へ積極的に参加。
・なでしこプランの強化として静岡県済生会と協働し横浜寿地区無料健康診断を実施
③社会貢献の重視と地域に開かれた病院としての使命遂行
・計画的な病床開床と将来の7対1看護配置基準の厳格化対策を併せて実施。
・EPA看護師の計画的な受け入れと教育の実施。
2. 患者さんと地域の目線に立った良質な医療の提供
①地域連携の強化
・外部機関との連携強化を目的に連携調整担当職員を配置。
・更なる円滑な連携体制構築のため、現行の地域連携支援部門を発展させた「大連携センター」設置の検討開始。
・若草病院との定期的な連絡会議の開催。
②安全・安心で質の高い医療の提供
・土曜日診療の見直しとして土曜日手術を開始。
・手術室の効率的な運用を目指し手術時間の正確な入力徹底の促進。
・病棟リハビリテーションを開始。
・NICUの整備を実施。
・危機管理部門及び感染管理室を設置。
・CS・ES委員会の充実と「職員満足度調査」の実施。
3. 将来を見据えた人材の確保と育成
①人材確保
・看護師の安定的な確保を実現。
・メディカルスタッフの計画的採用の実施。
②人材育成
・チーム医療総合教育センター機能の充実による医師の教育充実。

4. 働く人に選ばれる職場環境の整備
①ソフト整備
・CS・ES委員会の充実と「職員満足度調査」の実施。
・委員会設置によるレクリエーション内容の充実。
5. 持続可能な経営基盤の強化
①戦略的取り組み
・計画的な病床開床による病床利用率の向上達成。
・特命プロジェクトでの検討により、土曜日手術の開始、来年度手術室増室決定、病棟リハビリテーション開始、後発医薬品数量シェア拡大を達成。
②経営の健全化
・将来の7対1看護配置基準の厳格化に対応した病棟編成実施。
・病床管理室を設置しベッドコントロールを徹底。
③支出の抑制
・後発医薬品数量シェア拡大を達成。
・委託会社選定方法の見直しを行い来年度からの契約金額の削減を達成。
6. 新病院建設に向けた計画的な準備
①病院再整備事業の推進
・横浜市との協議機関である両者委員会を開催し、再整備の方向性に関し意見交換。
・現地建替えの可能性を探るためコンサルタントを選定しシミュレーションを実施。
②診療機能向上のためのリニューアル
・生理機能検査室及び内視鏡室検査室のリニューアル実施。
・NICUの整備を実施。

【若草病院】
平成26年度は、平成26年7月22日に開催された施設運営委員会において、社会福祉法人恩賜財団済生会施設運営委員会規則第2条第1項第11号の対象施設として指定を受け、新たに「黒字体質化の転換戦略」と題し、年度決算において黒字化の結果を出すための経営改善計画を策定し、アクションプランを基に収益改善を図った。その中で病床機能再編、地域包括ケア入院医療管理料の段階的拡大を掲げ、①入院患者数の増加②診療単価の増加③病床利用率の増加による収益増加を骨子とした。結果として、地域包括ケア病床を7月に20床、続いて9月に27床と計画に沿って導入した。更には当該病床の入退院調整検討会を発足し病床利用率100%を目標に、他の病棟を含めた対象患者の抽出検討と退院を併せた転室等の運用強化を行ったことで高稼働をキープすることが出来た。また、鼠径ヘルニア短期滞在手術料が増額したことで、収益の改善へとつながった。
しかしながら、11月、2月と院内感染による入院制限を行ったため、入院収益が伸びない期間もあったが、職員全員が患者数や病床利用率の目標値及び日々の実績値を把握できるように院内にアナウンスボードを設置し、経営改善計画を実行するためのアナウンス(意識付け)を図った成果もあり、早期に病床利用率を回復することが出来た。

1 収支の概要
(1)入院
・延患者数は65,570人(前年度比122人減)、1日当たり患者数は180.0人 (前年度比±0人)、
病床利用率は90.3%(前年度比0.1ポイント減)と減少した。
・診療単価は32,423円(前年度比727円増)、診療収益は2,125,978千円(前年度比43,773千円増)と増加した。
(2)外来
・1日当たり患者数は189.2人(前年度比5.1人減)で、延患者数は55,428人(前年度比1,687人減)、診療単価は7,796円(前年度比67円増)、診療収益は432,100千円(前年度比9,348千円減)と減少した。
(3)収支
・医業利益は7,705千円(前年度比 53,336千円増)、当期利益は23,289千円(前年度比76,804千円増)となった。

2 経営改善計画に基づいたアクションプランの実行
(1)改善計画実行のための徹底的アナウンス
経営会議、管理会議において収支状況を予算対比を取り入れて報告、また職員全員が患者数や病床利用率の目標値及び日々の実績値を把握できるように院内にアナウンスボードを設置し、経営改善計画を実行するためのアナウンス(意識付け) を図った。
(2)効率的な病床運営体制の確立、病床管理部門の強化
各病床機能ごとの入退院調整検討会を開催し、病床管理委員会で取り纏めを行い病床の満床運用に向けた検討を実施。
(3)地域医療連携室の発足
組織を明確に定め、専用電話設置、近隣医療機関への連携・受入れ強化、紹介・逆紹介に関する分析検討の実施。
(4)救急ホットライン設置
専任医師による救急ホットライン対応により、救急隊からの応需要請に迅速な対応が可能となった。
(5)レントゲン・検査の時間外対応強化
(6)短期滞在手術などの地域機能分担
DPC評価係数に関連する医療機関からの紹介の受入強化を実施し、短期滞在手術に係わるヘルニア手術については、ヘルニアセンターを平成25年に開設して、継続的に患者受入強化を行っている。

(7)外来診療体制の見直しの検討・分析
①科別、医師別の原価計算を集計し、費用対効果を重視した非常勤外来医師の診療体制の適正配置の検討の実施。
②土曜日診療の休診
平成27年4月から休診とし、日直帯については常勤の医師により救急体制の強化を図ることとした。
(8)医事課のアウトソース化
契約職員、非常勤職員に対して派遣業者への移行し、医事課職員の適正配置の実施。更には電話交換業務、病棟クラークも併せて配置し業務改善を図った。
(9)職員のモチベーション向上と職員の人事交流と外部文化の流入
①当院の活動を積極的に地域へアピールすることを意識し、多くの職員にイベントへの参加声掛けを行い、看護フェスティバルを院外会場で初開催、区民祭りの初参加、済生会関東ブロック親善ソフトボール大会にも初参加した。
②幹部・管理職研修を1泊2日の宿泊研修として実施
管理職以上が一堂に集まり4つのテーマに沿ったディスカッションを行い懇親会も含め職員間の交流を図った。
③学会・研修・セミナー・施設見学等の積極的な参加
④神奈川県済生会支部が中心となって人事配置を考慮し、県下4病院の職員を4月より順次配置、人事交流と外部文化の流入を行い、職員の意識改革、風土・組織・環境改革を実施した。

【平塚病院】

平塚病院の平成26年度の経営成績は総収益1,738百万円、当期純損失83百万円という結果となった。総収益のうち医業収益は1,703百万円であり、前年度から約1億円の増加となった。前年度からは回復の傾向にあるが、利益計上となった平成24年度の総収益1,831百万円には届いておらず、まずはこの収益達成を目標に経営改善を進めている。
今年度損失計上となった原因は、前年度に相次いた医師の退職に起因する。これに対しては、医師を平成26年4月に1名、10月に1名、更に平成27年4月に1名と半年に1名のペースで採用し、平成27年4月時点で常勤医師11名体制となっている。とはいえ、体調不良により外来勤務のみの医師もおり、まだ十分な体制とはいえないため、早急にあと2名の医師を採用し、十分な医療提供体制を構築する所存である。

1. 平成26年度決算の概要

	入院		外来	
	1日患者数	単価	1日患者数	単価
H26年実績	88人	36,333円	225人	6,408円
H25年実績	83人	34,053円	230人	6,622円
H24年実績	98人	33,201円	254人	6,855円

上記の通り、平成26年度は1日当りの入院患者数が前年度に比べ5名増加した。また、「地域包括ケア病棟」を導入したことによる効果で、入院単価が2,280円増加した。これにより入院収益は年間133百万円の増収となったが、外来収益は患者数、単価とともに減少し、年間28百万円の減収となった。

一方、総費用は年間1,821百万円と前年度よりも54百万円増加した。増加の要因としては、医師を採用したこと、地域包括ケア病棟導入のためにリハビリスタッフを採用したこと、電子カルテを導入したことなどがあげられる。電子カルテの導入は、従来の医事コンピュータが契約満了になることに伴うものであるが、費用増加につながったことも事実であり、その分を含めた収益増加について、一層厳しく取り組まなければならないと認識している。

2. 平成26年度の取り組み

(1) 地域包括ケア病棟の導入

平成26年4月の診療報酬改定によって新設された地域包括ケア病棟について、当院はいち早く取り組み、平成26年5月より運営を開始している。この病棟は、これからの高齢社会において高齢者の生活を地域全体で支える「地域包括ケアシステム」を医療機関側から支えることを趣旨として作られた入院機能であり、今後の医療政策において中核機能を担う存在になると認識している。経営面においても、患者さんが入院していられる期間を多少長くできること、1日当り約32,000円の収益が得られることにより、今年度の入院収益増加に大きく貢献した。

(2) 医師採用の取り組み

医師の採用については、「大学医局への依頼」「支部を含めた個人的関係での依頼」「紹介会社を通しての依頼」という3方向で活動を行った。「大学医局への依頼」については、現在医師を派遣してもらっている東海大学の他、北里大学、東京女子医科大学への訪問を行った。医師不足の神奈川県においては、簡単に成果は出ないが、今後も訪問を継続し安定的な医師補充ができる環境構築に繋げたいと考えている。

「支部を含めた個人的関係での依頼」については、病院長の個人的つながりと支部を通してのご紹介で今年度2名の医師を採用できた。また、横浜市南部病院から医師の派遣を頂き、医師不足を補うことができた。平成27年度も横浜市東部病院から医師の派遣を頂ける予定となっており、大変感謝している。

「紹介会社を通しての依頼」については、紹介会社を経由して7名の医師と面談を行った。このうち1名を平成27年4月に採用することができたが、その他の医師については勤務条件や報酬の面で折り合いをつけることができなかった。このルートは条件調整等の難しさを伴うが、医師獲得に繋がる数少ないルートの1つであり、引き続き活動を続けていく。

(3) 電子カルテの導入

電子カルテの導入は、従来の医事コンピュータが契約満了になることのほか、これから若い医師の採用に結びつけることを含めて取り組んだものである。平成26年5月に導入を決定し、10月に運用を開始するという短期間での導入スケジュールとなったが、職員全員の協力によって、大過なく導入することができた。

(4) 経営指導病院指定後の経営改善モニタリング

当院は平成25年の医師退職に伴い同年9月に済生会本部の訪問調査を受けた。この結果及び平成25年度決算結果により、平成26年7月22日の本部施設運営委員会にて経営指導病院に指定された。この指定に基づく経営改善をPDCAサイクルによるモニタリングを行い推進している。具体的には、上記の地域包括ケア病棟の導入・運用、医師の採用活動等について随時モニタリングを行い、取り組みの随時改善を図っている。また、コストの総点検を行い、購買コストの削減や職員駐車場の患者駐車場化などの成果もあった。

3. 新病院計画の進捗状況

平塚病院は平成29年度の新病院開院に向けて準備を進めているが、平成26年度には次の進捗があった。

(1) 神奈川県による当院の一般病床62床の増床許可。(平成25年度末)移転先の区画整理事業を行う(2) 三井不動産との土地売買に関する協定書締結。
(3) 支部理事会及び本部理事会における土地取得のご承認。
(4) 基本設計書の進捗。(平成27年4月完成予定)

(2)病院診療実績報告

（単位:名）

		総患者数			医療保険適用患者延数内訳					介護保険適用延数	1日当り患者数					
		実績	前年度実績	前年比増減	社会保険適用患者延数	老人保健適用患者延数	生活保護適用患者延数	その他の法令適用患者延数	自費適用患者延数		実績	稼動率	前年度実績	稼動率	前年比増減	前年比伸率
横浜市東部病院	入院	178,061	177,500	561	80,782	44,917	12,659	32,881	6,822	0	488	94.6%	486	94.2%	2	0.4%
516床	外来	254,133	245,919	8,214	145,766	51,985	12,474	40,112	3,796	0	1,042		1,008		34	3.4%
	計	432,194	423,419	8,775	226,548	96,902	25,133	72,993	10,618	0	1,530		1,494		36	
神奈川県病院	入院	67,008	67,933	▲ 925	21,954	26,634	6,005	12,189	226	0	184	98.2%	186	99.5%	▲ 2	▲ 1.1%
187床	外来	78,306	74,810	3,496	34,333	19,115	4,015	20,263	580	0	321		307		14	4.6%
	計	145,314	142,743	2,571	56,287	45,749	10,020	32,452	806	0	505		493		12	
横浜市南部病院	入院	153,143	140,922	12,221	64,477	64,120	6,378	12,929	5,239	0	420	83.9%	386	77.2%	34	8.7%
500床	外来	294,918	297,463	▲ 2,545	155,738	85,814	8,539	31,350	13,477	0	1,113		1,114		▲ 1	▲ 0.1%
	計	448,061	438,385	9,676	220,215	149,934	14,917	44,279	18,716	0	1,533		1,500		33	
若草病院	入院	65,570	65,692	▲ 122	13,521	30,907	2,229	18,736	177	0	180	90.5%	180	90.5%	0	0.0%
199床	外来	55,428	57,115	▲ 1,687	28,373	20,485	2,602	3,350	618	0	189		194		▲ 5	▲ 2.6%
	計	120,998	122,807	▲ 1,809	41,894	51,392	4,831	22,086	795	0	369		374		▲ 5	
平塚病院	入院	32,037	30,367	1,670	6,380	18,143	2,357	4,897	260	0	88	77.2%	83	72.8%	5	6.0%
114床	外来	66,114	67,485	▲ 1,371	32,380	21,521	2,483	7,637	2,093	0	225		230		▲ 5	▲ 2.2%
	計	98,151	97,852	299	38,760	39,664	4,840	12,534	2,353	0	313		313		0	
合　計	入院	495,819	490,841	4,978	187,114	184,721	29,628	81,632	12,724	0	1,359	90.1%	1,321	87.8%	38	2.9%
1,516床	外来	748,899	741,608	7,291	396,590	198,920	30,113	102,712	20,564	0	2,890		2,853		37	1.3%
	計	1,244,718	1,232,449	12,269	583,704	383,641	59,741	184,344	33,288	0	4,249		4,174		75	

(3)福祉医療事業報告

①無料、低額等診療報告

社会福祉法人病院として無料又は低額な費用で医療を提供した。

	生活保護法 A (名)	無料低額減免等 B (名)	合計 A+B=C(名)	総患者延数 D (名)	受診率 C/D(%)
横浜市東部病院	25,133	6,109	31,242	432,194	7.2%
神奈川県病院	10,020	5,298	15,318	145,314	10.5%
横浜市南部病院	14,917	18,272	33,189	448,061	7.4%
若草病院	4,831	8,110	12,941	120,998	10.7%
平塚病院	4,840	11,505	16,345	98,151	16.7%
合計	59,741	49,294	109,035	1,244,718	8.8%

②福祉医療相談、在宅介護等相談報告

院内外にかかわらず無料相談を積極的に開催した。

	延回数			延人数		
	実績	前年度実績	前年比増減	実績	前年度実績	前年比増減
横浜市東部病院	244 回	244 回	0	10,869 名	11,579 名	▲ 710
神奈川県病院	244 回	244 回	0	7,500 名	7,293 名	207
横浜市南部病院	265 回	267 回	▲ 2	8,010 名	10,671 名	▲ 2,661
若草病院	293 回	294 回	▲ 1	7,055 名	6,670 名	385
平塚病院	355 回	355 回	0	4,320 名	4,087 名	233
合計	1,401 回	1,404 回	▲ 3	37,754 名	40,300 名	▲ 2,546

③在宅医療支援報告

高齢者や在宅療養者宅を訪問して介護する家族の負担軽減のため支援活動を行った。

	支援事業	年間取扱延人数	前年実績	前年比増減	年間従事者延人数	前年実績	前年比増減
神奈川県病院	訪問相談	50 名	210 名	▲ 160 名	150 名	630 名	▲ 480 名
若草病院	訪問診療	1,689 名	1,958 名	▲ 269 名	3,437 名	3,896 名	▲ 459 名
平塚病院	訪問診療、訪問リハビリ	1,375 名	1,058 名	317 名	1,375 名	1,058 名	317 名
合計		3,114 名	3,226 名	▲ 112 名	4,962 名	5,584 名	▲ 622 名

④介護体制及び福祉施設との連携

福祉施設との連携を図り、充実した介護体制で、夜間・休日の時間外診療にも応需した。

	許可病床	健康相談	介護体制	連携する福祉施設	夜間休日診療
横浜市東部病院	516床	月16 回	43 名	重症心身障害児(者)施設サルビア	全　日
神奈川県病院	187床	月4回	21 名	かながわ訪問看護ステーション・菅田地域ケアプラザ	全　日
横浜市南部病院	500床	月20 回	20 名	南部訪問看護ステーション・港南台地域ケアプラザ	全　日
若草病院	199床	月4 回	12 名	特別養護老人　若草ホーム・わかくさ保育園 わかくさ訪問看護ステーション・金沢若草園 六浦地域ケアプラザ・能見台地域ケアプラザ	全　日
平塚病院	114床	月4 回	6 名	老健施設湘南苑・平塚訪問看護ステーション 袖ケ浜デイサービスセンター・平塚老人ホーム	全　日

⑤保健衛生予防活動報告

各種の院内検診等のほか、患者や地域の方々を対象に講習会、教室等を開催した。

	院内検診	予防接種	人間ドック	実績	前年度実績	前年比増減		保健衛生予防教室		
								患者・家族対象	一般対象	前年比増減
横浜市東部病院	13,306 名	835 名	0 名	14,141 名	13,196 名	945	7.2%	193 回	15 回	▲ 7
神奈川県病院	3,471 名	430 名	0 名	3,901 名	3,268 名	633	19.4%	59 回	0 回	▲ 1
横浜市南部病院	11,505 名	3,743 名	0 名	15,248 名	14,420 名	828	5.7%	251 回	0 回	10
若草病院	4,625 名	1,010 名	43 名	5,678 名	6,352 名	▲ 674	▲ 10.6%	0 回	12 回	▲ 3
平塚病院	2,742 名	1,188 名	174 名	4,104 名	4,402 名	▲ 298	▲ 6.8%	5 回	8 回	▲ 1
合計	35,649 名	7,206 名	217 名	43,072 名	41,638 名	1,434	3.4%	508 回	35 回	▲ 2

☆ 院内検診　『妊婦検診、がん検診、乳幼児検診、就職・就学検診』など。

☆ 予防接種　『麻疹、3種混合、インフルエンザ』など。

☆ 保健衛生予防教室　患者家族対象は『成人病教室、糖尿病教室、高血圧教室、母親教室、腎臓教室』など。
一般の方を対象に『成人病教室、糖尿病教室、健康講座・講習会』など。

⑥看護師等の救護派遣事業報告

諸行事に看護師を派遣し、保健活動を行った。

	派遣先	派遣件数・従事者延数		前年度派遣件数・従事者延数		前年比増減	
横浜市東部病院	平塚市(ホームレス巡回)	1 件	1 名	1 件	1 名	0	0
神奈川県病院	小田原市	1 件	1 名	1 件	1 名	0	0
横浜市南部病院	藤沢市(ホームレス巡回)、港南台連合自治会	3 件	3 名	3 件	3 名	0	0
若草病院	茅ヶ崎市(ホームレス巡回)平潟町内会など	1 件	1 名	2 件	3 名	▲ 1	▲ 2

⑦福祉健康診断等事業報告

	事業報告	取扱延数		前年度取扱延数		前年比増減	
横浜市東部病院	外国人への結核定期外健康診断	0 回	0名	0 回	0名	0 回	0 名
神奈川県病院		0 回	0名	1 回	42名	▲ 1 回	▲ 42 名
横浜市南部病院		0 回	0名	0 回	0名	0 回	0 名
若草病院		0 回	0名	0 回	0名	0 回	0 名
平塚病院		0 回	0名	0 回	0名	0 回	0 名

	事業報告	取扱延数		前年度取扱延数		前年比増減	
横浜市東部病院	更生保護施設入所者への診療及び健康診断	96 回	96名	13 回	28名	83 回	68 名
神奈川県病院		26 回	26名	2 回	2名	24 回	24 名
横浜市南部病院		14 回	14名	1 回	1名	13 回	13 名
若草病院		0 回	0名	0 回	0名	0 回	0 名
平塚病院		12 回	12名	9 回	9名	3 回	3 名

	事業報告	取扱延数		前年度取扱延数		前年比増減	
横浜市東部病院	難民外国人への医療支援等	70 回	70名	1 回	1名	69 回	69 名
神奈川県病院		8 回	8名	13 回	13名	▲ 5 回	▲ 5 名
横浜市南部病院		1 回	1名	1 回	13名	0 回	▲ 12 名
若草病院		0 回	0名	0 回	0名	0 回	0 名
平塚病院		0 回	0名	1 回	1名	▲ 1 回	▲ 1 名

(4)病院施設整備報告

	実績			前年度実績		前年比増減		
横浜市東部病院	4階外傷センター手術室改修工事、外科用X線撮影装置、生体情報モニター式、ハイビジョン腹腔鏡システム一式 他	118 品目	471,124 千円	178 品目	723,505 千円	▲ 60 品目	▲ 252,381 千円	▲ 34.9 %
神奈川県病院	透析用監視装置、心電計他	27 品目	70,790 千円	30 品目	52,641 千円	▲ 3 品目	18,149 千円	34.5 %
横浜市南部病院	注射薬払出システム他	178 品目	934,108 千円	164 品目	569,303 千円	14 品目	364,805 千円	64.1 %
若草病院	3Dﾋﾞﾃﾞｵｽｺｰﾌﾟほか	12 品目	14,250 千円	80 品目	103,827 千円	▲ 68 品目	▲ 89,577 千円	▲ 86.3 %
平塚病院	医事コンピューター、PACS、他3件	5 品目	154,944 千円	5 品目	7,147 千円	0 品目	147,797 千円	2,068.0 %
合計		340 品目	1,645,216 千円	457 品目	1,456,423 千円	▲ 117 品目	188,793 千円	13.0 %

6. 病院収支決算

(1)5病院総合

(単位:千円)

	科目	決算額	前年度決算額	前年比増減			科目	決算額	前年度決算額	前年比増減	
収入	医業収益	43,270,679	41,458,909	1,811,770	4.4%	支出	医業費用	42,789,081	41,398,742	1,390,339	3.4%
	医業外収益	501,995	483,790	18,205	3.8%		医業外費用	570,274	630,503	▲ 60,229	▲ 9.6%
	特別利益	504,323	607,619	▲ 103,296	▲ 17.0%		特別損失	358,511	51,056	307,454	602.2%
	合計	44,276,998	42,550,318	1,726,680	4.1%		合計	43,717,866	42,080,301	1,637,564	3.9%
当期利益		559,132	470,017	89,115	19.0%						

(2)5病院診療実績

		横浜市東部病院				神奈川県病院				横浜市南部病院				若草病院				平塚病院			
		実績		前年度実績	前年比増減(伸率)	実績		前年度実績	前年比増減(伸率)	実績		前年度実績	前年比増減(伸率)	実績		前年度実績	前年比増減(伸率)	実績		前年度実績	前年比増減(伸
内訳	許可病床数	516		516	0	187		187	0	500		500	0	199		199	0	114		114	0
	年間取扱患者延数	入院	178,061	177,500	561	入院	67,008	67,933	▲ 925	入院	153,143	140,922	12,221	入院	65,570	65,692	▲ 122	入院	32,037	30,367	1,670
		外来	254,133	245,919	8,214 3.3%	外来	78,306	74,810	3,496 4.7%	外来	294,918	297,463	▲ 2,545 ▲ 0.9%	外来	55,428	57,115	▲ 1,687 ▲ 3.0%	外来	66,114	67,485	▲ 1,371 ▲
	1日当り取扱患者数	入院	488	486	2 0.4%	入院	184	186	▲ 2 ▲ 1.1%	入院	420	386	34 8.7%	入院	180	180	0 0.0%	入院	88	83	5
		稼動率	94.6 %	94.2%		稼動率	98.2 %	99.5%		稼動率	83.9%	77.2%		稼動率	90.5%	90.5%		稼動率	77.2%	72.8%	
		外来	1,042	1,008	34 3.4%	外来	321	307	14 4.6%	外来	1,113	1,114	▲ 1 ▲ 0.1%	外来	189	194	▲ 5 ▲ 2.6%	外来	225	230	▲ 5 ▲
	1日当り診療単価	入院	88,758	84,765	3,993 4.7%	入院	39,714	37,952	1,762 4.6%	入院	62,476	64,168	▲ 1,692 ▲ 2.6%	入院	32,423	31,696	727 2.3%	入院	36,333	34,053	2,280
		外来	18,088	17,543	545 3.1%	外来	15,058	15,214	▲ 156 ▲ 1.0%	外来	13,353	13,274	79 0.6%	外来	7,796	7,729	67 0.9%	外来	6,408	6,622	▲ 214 ▲

(3)5病院の収支決算概要

（単位

		横浜市東部病院				神奈川県病院				横浜市南部病院				若草病院				平塚病院			
		決算額	前年度決算額	前年比増減		決算額	前年度決算額	前年比増減		決算額	前年度決算額	前年比増減		決算額	前年度決算額	前年比増減		決算額	前年度決算額	前年比増	
収入	医業収益①	21,145,347	20,139,559	1,005,788	5.0%	3,962,245	3,830,008	132,237	3.5%	13,761,219	13,218,150	543,069	4.1%	2,698,792	2,665,306	33,486	1.3%	1,703,076	1,605,886	97,190	
	医業外収益	210,588	227,729	▲ 17,141	▲ 7.5%	27,229	44,236	▲ 17,007	▲ 38.4%	191,660	150,573	41,087	27.3%	53,258	42,115	11,143	26.5%	19,260	19,137	123	
	特別利益	349,803	316,381	33,422	10.6%	25,229	29,627	▲ 4,398	▲ 14.8%	110,905	252,093	▲ 141,188	▲ 56.0%	1,905	1,952	▲ 47	▲ 2.4%	16,481	7,566	8,915	
	収入計(A)	21,705,739	20,683,669	1,022,070	4.9%	4,014,703	3,903,871	110,832	2.8%	14,063,784	13,620,816	442,968	3.3%	2,753,955	2,709,373	44,582	1.6%	1,738,817	1,632,589	106,228	
支出	給与費	9,699,837	9,437,590	262,247	2.8%	2,452,983	2,290,999	161,984	7.1%	7,047,817	6,562,093	485,724	7.4%	1,630,824	1,642,543	▲ 11,719	▲ 0.7%	1,144,235	1,112,768	31,467	
	材料費	6,416,121	5,921,202	494,920	8.4%	650,547	571,929	78,618	13.7%	3,694,033	3,438,335	255,698	7.4%	458,425	492,159	▲ 33,734	▲ 6.9%	236,634	245,489	▲ 8,855	▲
	(薬品費)	2,533,746	(2,454,781)	78,965	3.2%	(377,201)	(366,550)	10,651	2.9%	(2,108,239)	(1,916,124)	192,115	10.0%	(243,621)	(285,411)	▲ 41,790	▲ 14.6%	(84,024)	(97,513)	▲ 13,489	▲
	(診材費)	3,686,181	(3,247,871)	438,310	13.5%	(209,635)	(151,648)	57,987	38.2%	(1,467,658)	(1,414,160)	53,498	3.8%	(166,113)	(153,319)	12,794	8.3%	(126,992)	(124,918)	2,074	
	経費	1,607,729	1,514,365	93,364	6.2%	238,951	245,040	▲ 6,089	▲ 2.5%	944,904	982,132	▲ 37,228	▲ 3.8%	291,078	305,162	▲ 14,084	▲ 4.6%	171,726	155,628	16,098	
	委託費	1,533,587	1,527,464	6,123	0.4%	423,767	404,262	19,505	4.8%	1,475,380	1,735,387	▲ 260,007	▲ 15.0%	206,701	189,270	37,431	22.1%	189,873	175,475	14,398	
	研究研修費	89,935	117,467	▲ 27,533	▲ 23.4%	13,103	13,887	▲ 784	▲ 5.6%	46,421	39,332	7,089	18.0%	4,908	3,424	1,482	43.3%	5,264	4,450	814	
	減価償却費	938,011	1,042,543	▲ 104,532	▲ 10.0%	150,282	164,055	▲ 13,773	▲ 8.4%	590,873	662,459	▲ 71,586	▲ 10.8%	76,104	74,186	1,918	2.6%	48,572	48,355	217	
	本・支部費	148,693	149,464	▲ 770	▲ 0.5%	27,211	25,242	1,969	7.8%	97,636	90,177	7,459	8.3%	23,049	24,193	▲ 1,144	▲ 4.7%	13,868	10,216	3,652	
	医業費用計②	20,433,914	19,710,095	723,819	3.7%	3,956,844	3,715,414	241,430	6.5%	13,897,064	13,509,915	387,149	2.9%	2,691,087	2,710,937	▲ 19,850	▲ 0.7%	1,810,172	1,752,381	57,791	
	医業外費用	360,002	410,825	▲ 50,823	▲ 12.4%	116,883	115,380	1,503	1.3%	47,616	44,845	2,771	6.2%	35,462	48,063	▲ 12,601	▲ 26.2%	10,311	11,390	▲ 1,079	▲
	特別損失	11,141	1,753	9,387	535.4%	319,431	30,848	288,583	-	22,390	10,725	11,665	108.8%	4,117	3,888	229	5.9%	1,432	3,842	▲ 2,410	▲
	支出計(B)	20,805,057	20,122,673	682,383	3.4%	4,393,158	3,861,642	531,516	13.8%	13,967,070	13,565,485	401,585	3.0%	2,730,666	2,762,888	▲ 32,222	▲ 1.2%	1,821,915	1,767,613	54,302	
医業利益①－②		711,433	429,464	281,969	65.7%	5,401	114,594	▲ 109,193	▲ 95.3%	▲ 135,845	▲ 291,765	155,920	▲ 53.4%	7,705	▲ 45,631	53,336	▲ 116.9%	▲ 107,096	▲ 146,495	39,399	▲
当期利益(A)－(B)		900,682	560,996	339,686	60.6%	▲ 378,455	42,229	▲ 420,684	▲ 996.2%	96,714	55,331	41,383	74.8%	23,289	▲ 53,515	76,804	▲ 143.5%	▲ 83,098	▲ 135,024	51,926	▲

① 横浜市東部病院

ア. 横浜市東部病院　診療実績

科目＼比較		決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)－(B)	増減率	計画(C)	差異(A)－(C)	増減率
入院	患者取扱延数	178,061 名	177,500 名	561 名	0.3 %	179,945 名	▲ 1,884 名	▲ 1.0 %
	1日当り患者数	488 名	486 名	2 名	0.4 %	493 名	▲ 5 名	▲ 1.0 %
	1日当り診療単価	88,758 円	84,765 円	3,993 円	4.7 %	86,917 円	1,841 円	2.1 %
	病床稼働率	94.6 %	94.2 %	0.4 %	0.4 %	95.5 %	▲ 0.9 %	▲ 0.9 %
	平均在院日数	8.6 日	8.9 日	▲ 0.3 日	▲ 3.4 %			
外来	患者取扱延数	254,133 名	245,919 名	8,214 名	3.3 %	241,560 名	12,573 名	5.2 %
	1日当り患者数	1,042 名	1,008 名	34 名	3.4 %	990 名	52 名	5.3 %
	1日当り診療単価	18,088 円	17,543 円	545 円	3.1 %	17,053 円	1,035 円	6.1 %
	診療実日数	244 日	244 日	0 日	0.0 %	244 日	0 日	0.0 %

イ. 決算及び診療実績

科目＼比較		決算(A)		前年度決算(B)		増減(A)－(B)		計画(C)		増減(A)－(C)	
		金額	医業収益対比	金額	医業収益対比	金額	増減率	金額	医業収益対比	金額	増減率
収入	医業収益①	21,145,347	100.0%	20,139,559	100.0%	1,005,788	5.0%	20,569,856	100.0%	575,491	2.8%
	医業外収益	210,588	1.0%	227,729	1.1%	▲ 17,141	▲ 7.5%	180,185	0.9%	30,403	16.9%
	特別利益	349,803	1.7%	316,381	1.6%	33,422	10.6%	291,286	1.4%	58,517	20.1%
	収入合計(イ)	21,705,739	102.7%	20,683,669	102.7%	1,022,070	4.9%	21,041,328	102.3%	664,411	3.2%
支出	給与費	9,699,837	45.9%	9,437,590	46.9%	262,247	2.8%	9,773,494	47.5%	▲ 73,657	▲ 0.8%
	材料費	6,416,121	30.3%	5,921,202	29.4%	494,920	8.4%	6,253,158	30.4%	162,963	2.6%
	(薬品費)	2,533,746	12.0%	2,454,781	12.2%	78,965	3.2%	(2,577,267)	(12.5%)	▲ 43,521	(▲1.7%)
	(診療材料費)	3,686,181	17.4%	3,247,871	16.1%	438,310	13.5%	(3,365,482)	(16.4%)	320,699	(9.5%)
	経費	1,607,729	7.6%	1,514,365	7.5%	93,364	6.2%	1,672,903	8.1%	▲ 65,174	▲ 3.9%
	委託費	1,533,587	7.3%	1,527,464	7.6%	6,123	0.4%	1,476,856	7.2%	56,731	3.8%
	研究研修費	89,935	0.4%	117,467	0.6%	▲ 27,533	▲ 23.4%	146,027	0.7%	▲ 56,092	▲ 38.4%
	減価償却費	938,011	4.4%	1,042,543	5.2%	▲ 104,532	▲ 10.0%	973,840	4.7%	▲ 35,829	▲ 3.7%
	本・支部費	148,693	0.7%	149,464	0.7%	▲ 770	▲ 0.5%	152,923	0.7%	▲ 4,230	▲ 2.8%
	医業費用小計②	20,433,914	96.6%	19,710,095	97.9%	723,819	3.7%	20,449,201	99.4%	▲ 15,287	▲ 0.1%
	医業外費用	360,002	1.7%	410,825	2.0%	▲ 50,823	▲ 12.4%	374,969	1.8%	▲ 14,967	▲ 4.0%
	特別損失	11,141	0.1%	1,753	0.0%	9,387	535.4%	1,678	0.0%	9,463	563.9%
	支出合計(ロ)	20,805,057	98.4%	20,122,673	99.9%	682,383	3.4%	20,825,848	101.2%	▲ 20,791	▲ 0.1%
医業利益①－②		711,433	3.4%	429,464	2.1%	281,969	65.7%	120,655	0.6%	590,778	489.6%
当期利益(イ)－(ロ)		900,682	4.3%	560,996	2.8%	339,686	60.6%	215,480	1.0%	685,202	318.0%

〔注〕( )の数字は再掲

② 神奈川県病院

ア. 神奈川県病院　診療実績

科目＼比較		決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)－(B)	増減率	計画(C)	差異(A)－(C)	増減率
入院	患者取扱延数	67,008 名	67,933 名	▲ 925 名	▲ 1.4 %	67,890 名	▲ 882 名	▲ 1.3 %
	1日当り患者数	184 名	186 名	▲ 2 名	▲ 1.1 %	186 名	▲ 2 名	▲ 1.1 %
	1日当り診療単価	39,714 円	37,952 円	1,762 円	4.6 %	38,638 円	1,076 円	2.8 %
	病床稼働率	98.2 %	99.5 %	▲ 1.3 %	▲ 1.3 %	99.5 %	▲ 1.3 %	▲ 1.3 %
	平均在院日数	35.0 日	41.7 日	▲ 6.7 日	▲ 16.1 %	計画(C)	差異(A)－(C)	増減率
外来	患者取扱延数	78,306 名	74,810 名	3,496 名	4.7 %	79,058 名	▲ 752 名	▲ 1.0 %
	1日当り患者数	321 名	307 名	14 名	4.6 %	324 名	▲ 3 名	▲ 0.9 %
	1日当り診療単価	15,058 円	15,214 円	▲ 156 円	▲ 1.0 %	15,219 円	▲ 161 円	▲ 1.1 %
	診療実日数	244 日	244 日	0 日	0.0 %	244 日	0 日	0.0 %

イ. 決算及び診療実績

比較 / 科目		決算(A) 金額	決算(A) 医業収益対比	前年度決算(B) 金額	前年度決算(B) 医業収益対比	増減(A)－(B) 金額	増減(A)－(B) 増減率	計画(C) 金額	計画(C) 医業収益対比	増減(A)－(C) 金額	増減(A)－(C) 増減率
収入	医業収益①	3,962,245	100.0%	3,830,008	100.0%	132,237	3.5%	3,959,976	100.0%	2,269	0.1%
	医業外収益	27,229	0.7%	44,236	1.2%	▲ 17,007	▲ 38.4%	33,044	0.8%	▲ 5,815	▲ 17.6%
	特別利益	25,229	0.6%	29,627	0.8%	▲ 4,398	▲ 14.8%	0	0.0%	25,229	—
	収入合計(イ)	4,014,703	101.3%	3,903,871	101.9%	110,832	2.8%	3,993,020	100.8%	21,683	0.5%
支出	給与費	2,452,983	61.9%	2,290,999	59.8%	161,984	7.1%	2,341,096	59.1%	111,887	4.8%
	材料費	650,547	16.4%	571,929	14.9%	78,618	13.7%	615,592	15.5%	34,955	5.7%
	(薬品費)	377,201	9.5%	366,550	9.6%	10,651	2.9%	(399,394)	(10.1%)	▲ 22,193	(▲5.6%)
	(診療材料費)	209,635	5.3%	151,648	4.0%	57,987	38.2%	(164,813)	(4.2%)	44,822	(27.2%)
	経費	238,951	6.0%	245,040	6.4%	▲ 6,089	▲ 2.5%	326,409	8.2%	▲ 87,458	▲ 26.8%
	委託費	423,767	10.7%	404,262	10.6%	19,505	4.8%	375,405	9.5%	48,362	12.9%
	研究研修費	13,103	0.3%	13,887	0.4%	▲ 784	▲ 5.6%	13,722	0.3%	▲ 619	▲ 4.5%
	減価償却費	150,282	3.8%	164,055	4.3%	▲ 13,773	▲ 8.4%	157,630	4.0%	▲ 7,348	▲ 4.7%
	本・支部費	27,211	0.7%	25,242	0.7%	1,969	7.8%	26,516	0.7%	695	2.6%
	医業費用小計②	3,956,844	99.9%	3,715,414	97.0%	241,430	6.5%	3,856,370	97.4%	100,474	2.6%
	医業外費用	116,883	2.9%	115,380	3.0%	1,503	1.3%	111,496	2.8%	5,387	4.8%
	特別損失	319,431	8.1%	30,848	0.8%	288,583	935.5%	22,958	0.6%	296,473	1,291.4%
	支出合計(ロ)	4,393,158	110.9%	3,861,642	100.8%	531,516	13.8%	3,990,824	100.8%	402,334	10.1%
医業利益①－②		5,401	0.1%	114,594	3.0%	▲ 109,193	▲ 95.3%	103,606	2.6%	▲ 98,205	▲ 94.8%
当期利益(イ)－(ロ)		▲ 378,455	▲ 9.6%	42,229	1.1%	▲ 420,684	▲ 996.2%	2,196	0.1%	▲ 380,651	▲ 17,333.8%

〔注〕( )の数字は再掲

③ 横浜市南部病院

ア. 横浜市南部病院　診療実績

科目＼比較		決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)－(B)	増減率	計画(C)	差異(A)－(C)	増減率
入院	患者取扱延数	153,143 名	140,922 名	12,221 名	8.7 %	157,680 名	▲ 4,537 名	▲ 2.9 %
	1日当り患者数	420 名	386 名	34 名	8.7 %	432 名	▲ 12 名	▲ 2.9 %
	1日当り診療単価	62,476 円	64,168 円	▲ 1,692 円	▲ 2.6 %	64,500 円	▲ 2,024 円	▲ 3.1 %
	病床稼働率	83.9 %	77.2 %	6.7 %	8.7 %	86.4 %	▲ 2.5 %	▲ 2.9 %
	平均在日数	9.6 日	9.3 日	0.3 日	3.3 %	計画(C)	差異(A)－(C)	増減率
外来	患者取扱延数	294,918 名	297,463 名	▲ 2,545 名	▲ 0.9 %	291,500 名	3,418 名	1.2 %
	1日当り患者数	1,113 名	1,114 名	▲ 1 名	▲ 0.1 %	1,100 名	13 名	1.2 %
	1日当り診療単価	13,353 円	13,274 円	79 円	0.6 %	13,500 円	▲ 147 円	▲ 1.1 %
	診療実日数	265 日	267 日	▲ 2 日	▲ 0.7 %	265 日	0 日	0.0 %

イ. 決算及び診療実績

比較 / 科目		決算(A)		前年度決算(B)		増減(A)－(B)		計画(C)		増減(A)－(C)	
		金額	医業収益対比	金額	医業収益対比	金額	増減率	金額	医業収益対比	金額	増減率
収入	医業収益①	13,761,219	100.0%	13,218,150	100.0%	543,069	4.1%	14,351,664	100.0%	▲ 590,445	▲ 4.1%
	医業外収益	191,660	1.4%	150,573	1.1%	41,087	27.3%	144,992	1.0%	46,668	32.2%
	特別利益	110,905	0.8%	252,093	1.9%	▲ 141,188	▲ 56.0%	104,609	0.7%	6,296	6.0%
	収入合計(イ)	14,063,784	102.2%	13,620,816	103.0%	442,968	3.3%	14,601,265	101.7%	▲ 537,481	▲ 3.7%
支出	給与費	7,047,817	51.2%	6,562,093	49.6%	485,724	7.4%	6,925,164	48.3%	122,653	1.8%
	材料費	3,694,033	26.8%	3,438,335	26.0%	255,698	7.4%	3,937,584	27.4%	▲ 243,551	▲ 6.2%
	(薬品費)	2,108,239	15.3%	1,916,126	14.5%	192,113	10.0%	(2,191,117)	(15.3%)	▲ 82,878	(▲3.8%)
	(診療材料費)	1,467,658	10.7%	1,414,160	10.7%	53,498	3.8%	(1,638,511)	(11.4%)	▲ 170,853	(▲10.4%)
	経費	944,904	6.9%	982,132	7.4%	▲ 37,228	▲ 3.8%	984,781	6.9%	▲ 39,877	▲ 4.0%
	委託費	1,475,380	10.7%	1,735,387	13.1%	▲ 260,007	▲ 15.0%	1,434,531	10.0%	40,849	2.8%
	研究研修費	46,421	0.3%	39,332	0.3%	7,089	18.0%	38,878	0.3%	7,543	19.4%
	減価償却費	590,873	4.3%	662,459	5.0%	▲ 71,586	▲ 10.8%	712,200	5.0%	▲ 121,327	▲ 17.0%
	本・支部費	97,636	0.7%	90,177	0.7%	7,459	8.3%	97,490	0.7%	146	0.1%
	医業費用小計②	13,897,064	101.0%	13,509,915	102.2%	387,149	2.9%	14,130,628	98.5%	▲ 233,564	▲ 1.7%
	医業外費用	47,616	0.3%	44,845	0.3%	2,771	6.2%	46,384	0.3%	1,232	2.7%
	特別損失	22,390	0.2%	10,725	0.1%	11,665	108.8%	6,425	0.0%	15,965	248.5%
	支出合計(ロ)	13,967,070	101.5%	13,565,485	102.6%	401,585	3.0%	14,183,437	98.8%	▲ 216,367	▲ 1.5%
医業利益①－②		▲ 135,845	▲ 1.0%	▲ 291,765	▲ 2.2%	155,920	▲ 53.4%	221,036	1.5%	▲ 356,881	▲ 161.5%
当期利益(イ)－(ロ)		96,714	0.7%	55,331	0.4%	41,383	74.8%	417,828	2.9%	▲ 321,114	▲ 76.9%

〔注〕( )の数字は再掲

④ 若草病院

ア. 若草病院　診療実績

科目＼比較		決算 (A)	前年度決算 (B)	増　減 (A)－(B)	増減率	計画(C)	差　異(A)－(C)	増減率
入院	患者取扱延数	65,570 名	65,692 名	▲ 122 名	▲ 0.2 %	68,620 名	▲ 3,050 名	▲ 4.4 %
	1日当り患者数	180 名	180 名	0 名	0.0 %	188 名	▲ 8 名	▲ 4.3 %
	1日当り診療単価	32,423 円	31,696 円	727 円	2.3 %	31,664 円	759 円	2.4 %
	病床稼働率	90.3 %	90.4 %	▲ 0.1 %	▲ 0.1 %	94.5 %	▲ 4.2 %	▲ 4.4 %
	平均在日数	31.4 日	33.3 日	▲ 1.9 日	▲ 5.7 %	計画(C)	差　異(A)－(C)	増減率
外来	患者取扱延数	55,428 名	57,115 名	▲ 1,687 名	▲ 3.0 %	61,530 名	▲ 6,102 名	▲ 9.9 %
	1日当り患者数	189 名	194 名	▲ 5 名	▲ 2.6 %	210 名	▲ 21 名	▲ 10.0 %
	1日当り診療単価	7,796 円	7,729 円	67 円	0.9 %	7,796 円	0 円	0.0 %
	診療実日数	293 日	294 日	▲ 1 日	▲ 0.3 %	293 日	0 日	0.0 %

イ. 決算及び診療実績

科目＼比較		決算(A) 金額	決算(A) 医業収益対比	前年度決算(B) 金額	前年度決算(B) 医業収益対比	増減(A)－(B) 金額	増減(A)－(B) 増減率	計画(C) 金額	計画(C) 医業収益対比	増減(A)－(C) 金額	増減(A)－(C) 増減率
収入	医業収益①	2,698,792	100.0%	2,665,306	100.0%	33,486	1.3%	2,799,416	100.0%	▲ 100,624	▲ 3.6%
	医業外収益	53,258	2.0%	42,115	1.6%	11,143	26.5%	42,014	1.5%	11,244	26.8%
	特別利益	1,905	0.1%	1,952	0.1%	▲ 47	▲ 2.4%	1,952	0.1%	▲ 47	▲ 2.4%
	収入合計(イ)	2,753,955	102.0%	2,709,373	101.7%	44,582	1.6%	2,843,382	101.6%	▲ 89,427	▲ 3.1%
支出	給与費	1,630,824	60.4%	1,642,543	61.6%	▲ 11,719	▲ 0.7%	1,688,832	60.3%	▲ 58,008	▲ 3.4%
	材料費	458,425	17.0%	492,159	18.5%	▲ 33,734	▲ 6.9%	503,500	18.0%	▲ 45,075	▲ 9.0%
	(薬品費)	243,621	9.0%	285,411	10.7%	▲ 41,790	▲ 14.6%	(293,939)	(10.5%)	▲ 50,318	(▲17.1%)
	(診療材料費)	166,113	6.2%	153,319	5.8%	12,794	8.3%	(153,968)	(5.5%)	12,145	(7.9%)
	経費	291,078	10.8%	305,162	11.4%	▲ 14,084	▲ 4.6%	298,531	10.7%	▲ 7,453	▲ 2.5%
	委託費	206,701	7.7%	169,270	6.4%	37,431	22.1%	199,780	7.1%	6,921	3.5%
	研究研修費	4,906	0.2%	3,424	0.1%	1,482	43.3%	3,730	0.1%	1,176	31.5%
	減価償却費	76,104	2.8%	74,186	2.8%	1,918	2.6%	76,673	2.7%	▲ 569	▲ 0.7%
	本・支部費	23,049	0.9%	24,193	0.9%	▲ 1,144	▲ 4.7%	24,592	0.9%	▲ 1,543	▲ 6.3%
	医業費用小計②	2,691,087	99.7%	2,710,937	101.7%	▲ 19,850	▲ 0.7%	2,795,638	99.9%	▲ 104,551	▲ 3.7%
	医業外費用	35,462	1.3%	48,063	1.8%	▲ 12,601	▲ 26.2%	39,346	1.4%	▲ 3,884	▲ 9.9%
	特別損失	4,117	0.2%	3,888	0.1%	229	5.9%	3,500	0.1%	617	17.6%
	支出合計(ロ)	2,730,666	101.2%	2,762,888	103.7%	▲ 32,222	▲ 1.2%	2,838,484	101.4%	▲ 107,818	▲ 3.8%
医業利益①－②		7,705	0.3%	▲ 45,631	▲ 1.7%	53,336	▲ 116.9%	3,778	0.1%	3,927	103.9%
当期利益(イ)－(ロ)		23,289	0.9%	▲ 53,515	▲ 2.0%	76,804	▲ 143.5%	4,898	0.2%	18,391	375.5%

〔注〕( )の数字は再掲

⑤ 平塚病院

ア. 平塚病院　診療実績

科目＼比較		決算 (A)	前年度決算 (B)	増　減 (A)－(B)	増減率	計画(C)	差　異(A)－(C)	増減率
入院	患者取扱延数	32,037 名	30,367 名	1,670 名	5.5 %	35,221 名	▲ 3,184 名	▲ 9.0 %
	1日当り患者数	88 名	83 名	5 名	6.0 %	97 名	▲ 9 名	▲ 8.8 %
	1日当り診療単価	36,333 円	34,053 円	2,280 円	6.7 %	34,000 円	2,333 円	6.9 %
	病床稼働率	81.4 %	72.8 %	8.6 %	11.8 %	85.0 %	▲ 3.6 %	▲ 4.2 %
	平均在日数	21.0 日	17.7 日	3.3 日	18.6 %			
外来	患者取扱延数	66,114 名	67,485 名	▲ 1,371 名	▲ 2.0 %	73,250 名	▲ 7,136 名	▲ 9.7 %
	1日当り患者数	225 名	230 名	▲ 5 名	▲ 2.2 %	250 名	▲ 25 名	▲ 10.0 %
	1日当り診療単価	6,408 円	6,622 円	▲ 214 円	▲ 3.2 %	6,800 円	▲ 392 円	▲ 5.8 %
	診療実日数	293 日	293 日	0 日	0.0 %	293 日	0 日	0.0 %

イ. 決算及び診療実績

比較 / 科目		決算(A) 金額	決算(A) 医業収益対比	前年度決算(B) 金額	前年度決算(B) 医業収益対比	増減(A)－(B) 金額	増減(A)－(B) 増減率	計画(C) 金額	計画(C) 医業収益対比	増減(A)－(C) 金額	増減(A)－(C) 増減率
収入	医業収益①	1,703,076	100.0%	1,605,886	100.0%	97,190	6.1%	1,796,534	100.0%	▲ 93,458	▲ 5.2%
	医業外収益	19,260	1.1%	19,137	1.2%	123	0.6%	18,000	1.0%	1,260	7.0%
	特別利益	16,481	1.0%	7,566	0.5%	8,915	117.8%	4,053	0.2%	12,428	306.6%
	収入合計(イ)	1,738,817	102.1%	1,632,589	101.7%	106,228	6.5%	1,818,587	101.2%	▲ 79,770	▲ 4.4%
支出	給与費	1,144,235	67.2%	1,112,768	69.3%	31,467	2.8%	1,113,119	62.0%	31,116	2.8%
	材料費	236,634	13.9%	245,489	15.3%	▲ 8,855	▲ 3.6%	276,714	15.4%	▲ 40,080	▲ 14.5%
	(薬品費)	(84,024)	4.9%	(97,513)	6.1%	▲ 13,489	▲ 13.8%	(116,774)	(6.5%)	▲ 32,750	(▲28.0%)
	(診療材料費)	(126,992)	7.5%	(124,918)	7.8%	2,074	1.7%	(134,740)	(7.5%)	▲ 7,748	(▲5.8%)
	経費	171,726	10.1%	155,628	9.7%	16,098	10.3%	157,430	8.8%	14,296	9.1%
	委託費	189,873	11.1%	175,475	10.9%	14,398	8.2%	183,027	10.2%	6,846	3.7%
	研究研修費	5,264	0.3%	4,450	0.3%	814	18.3%	4,340	0.2%	924	21.3%
	減価償却費	48,572	2.9%	48,355	3.0%	217	0.4%	48,000	2.7%	572	1.2%
	本・支部費	13,868	0.8%	10,216	0.6%	3,652	35.7%	13,841	0.8%	27	0.2%
	医業費用小計②	1,810,172	106.3%	1,752,381	109.1%	57,791	3.3%	1,796,471	100.0%	13,701	0.8%
	医業外費用	10,311	0.6%	11,390	0.7%	▲ 1,079	▲ 9.5%	6,899	0.4%	3,412	49.5%
	特別損失	1,432	0.1%	3,842	0.2%	▲ 2,410	▲ 62.7%	0	0.0%	1,432	—
	支出合計(ロ)	1,821,915	107.0%	1,767,613	110.1%	54,302	3.1%	1,803,370	100.4%	18,545	1.0%
医業利益①－②		▲ 107,096	▲ 6.3%	▲ 146,495	▲ 9.1%	39,399	26.9%	63	0.0%	▲ 107,159	▲170,093.7%
当期利益(イ)－(ロ)		▲ 83,098	▲ 4.9%	▲ 135,024	▲ 8.4%	51,926	▲ 38.5%	15,217	0.8%	▲ 98,315	▲ 646.1%

〔注〕( )の数字は再掲

7. 福祉施設事業報告及び決算

神奈川県及び横浜市、平塚市の指導と協力のもと、提供するサービスの質の向上及び多様化するニーズに応えられるよう各施設の特徴を活かして事業展開を図った。

(1)介護老人保健施設《湘南苑》

病院併設型の介護老人保健施設としてのその特性を活かし、多様化する地域からの要望に応え、利用者の立場に立った看護、介護のサービスの充実に努めた。また、平塚市を中心に関係市区町村との連携を図り、高齢者の福祉サービスの拠点施設としての役割を果たした。

ア. 事業報告

(単位:名)

事業種別	定　員	延 人 員	前 年 度	前年比増減	稼動率	前年度稼動率
入　所　事　業	54	18,396	18,318	78	98.1%	98.3%
短期入所療養介護		936	1,058	▲ 122		
通所リハビリテーション	30	6,123	6,224	▲ 101	69.7%	71.8%

イ. 無料低額利用取扱延数

事業種別	定　員	取扱延数	前 年 度	前年比増減	無低率
入所事業	54	2,063	2,454	▲ 391	11.2%

イ. 湘南苑決算概要(総合)　　(単位:千円)

収入				支出			
科目	決算額	前年度決算額	前年比増減	科目	決算額	前年度決算額	前年比増減
介護保健施設介護料収益	195,882	193,076	2,806	給与費	218,244	216,559	1,685
居宅介護料収益	76,876	77,607	▲ 731	材料費	32,009	30,189	1,820
利用者等利用料収益	40,319	40,995	▲ 676	経費	30,750	29,011	1,739
その他の事業収益	262	178	84	委託費	30,584	29,632	952
受取利息配当金	4	2	2	研修費	248	643	▲ 395
利用者等外給食収益	0	0	0	減価償却費	9,057	9,845	▲ 788
その他の施設運営事業外収益	4,039	3,057	982	本・支部費	1,450	1,432	18
				一般施設運営事業外費用	1,869	2,346	▲ 477
				社会事業費			0
特別利益			0	特別損失			0
当期損失	6,829	4,742	2,087	当期利益			0
収入計	324,211	319,657	4,554	支出計	324,211	319,657	4,554
収支差額	**▲ 6,829**	**▲ 4,742**	**▲ 2,087**				

(2) 特別養護老人ホーム《若草ホーム》

入所事業については、看護職の人員体制の強化を行い経管栄養など医療対応を必要とする入居者の受入を積極的に行った結果、医療対応助成金(補助金)の対象となった。短期入所事業についてはリピーター利用者や長期利用者並びに新規利用者を積極的に受け入れを行ったが、前年度を下回った。ディサービス事業は近隣施設と競合し厳しい中、稼働率が前年度を上回った。居宅介護支援については体制強化をした結果、取扱件数を伸ばした。福祉サービス第三者評価を受審した結果の報告書を全職員に配布し、評価内容を真摯に受け止め、今後の若草ホームの業務等の改善の基礎資料とした。賃借地の一部を買い取り、賃借料の削減を行った。入居者の高齢化・介護の重度化が進み介護・看護スタッフの負担が増す中、介護においては職員に介護福祉士を取得させ、看護に関しては人員体制を安定させ、入居者のケアを充実させた。また、年間を通して様々な行事やボランティアによる催しもの、文化活動なども実施して、お一人お一人が心おだやかに満足した生活を送っていただけるように努めた。

ア. 事業報告

事業種別	定　員	年間取扱延数	前年度取扱延数	前年比増減	稼動率	前年度稼動率
入　所　事　業	70	25,073	25,174	▲ 101	98.1%	98.5%
短期入所生活介護事業	7	1,830	1,940	▲ 110	71.6%	75.9%
デイサービス事業	1日15名	2,289	2,215	74	63.3%	61.3%
居宅介護支援事業	—	897	728	169	—	—

イ. 若草ホーム決算概要(総合)

(単位:千円)

収入					支出				
	科目	決算額	前年度決算額	前年比増減		科目	決算額	前年度決算額	前年比増減
事業活動収入	介護保険収入	353,916	352,108	1,808	事業活動支出	人件費支出	234,979	220,666	14,313
	補助金収入	2,400	0	2,400		直接介護費	47,612	47,198	414
	受託収入	955	968	▲ 13		一般管理費	47,955	49,426	▲ 1,471
	国庫補助金等特別積立金取崩額	9,395	9,395	0		減価償却費	17,167	16,137	1,030
						引当金繰入	1,770	4,861	▲ 3,091
事業活動外収入	受取利息配当金収入	96	46	50	事業活動外支出	介護サービス利用料等減免	610	199	411
	寄付金収入	227	250	▲ 23					
	雑収入	452	315	137					
特別収入	施設整備等補助金収入	0		0	特別支出	固定資産除却損	359	493	▲ 134
	他会計区分繰入金収入	8,104	5,711	2,393		国庫補助金等特別積立金繰入額	0		0
	会計区分外繰入金収入	0		0		他会計区分繰入金支出	8,104	5,711	2,393
	その他特別収入	1,605		1,605		会計区分外繰入金支出	0		0
	国庫補助金等特別積立金取崩額	92				その他特別損失	0	0	0
収入計		377,242	368,793	8,449	支出計		358,556	344,691	13,865
収支差額		**18,686**	**24,102**	**▲ 5,416**					

(3) 保育施設《わかくさ保育園》

平成26年度は、園舎各部の安全点検に基づく営繕の実施をはじめ、トイレ等の整備、室内環境の充実などを進め、園児の生活環境の充実に努めた。

更に、横浜市、保護者の要請に応えて、定員を超えた子どもの受け入や、時間延長サービス等の自主事業も行った。

ア. 事業報告　（年間開所日　293　日）　（単位:名）

区分 / 種別	取扱実績						前年度実績	前年比増減	稼動率	前年度稼動率
	0～1歳児	1～2歳児	2～3歳児	3～4歳児	4歳児以上	合計				
定員　60名	2,881	3,366	3,809	3,366	6,739	20,161	20,107	54	114.7%	110.2%
夜間一時保育	0	0	0			0	0	0	—	—

イ. 保育園決算収支概要

（単位：千円）

収入					支出				
科目		決算額	前年度決算額	前年比増減	科目		決算額	前年度決算額	前年比増減
経常収入	運営費収入	85,787	83,847	1,940	経常支出	人件費支出	91,282	86,586	4,696
	経常経費補助金収入	44,670	37,635	7,035		事務費支出	14,093	11,785	2,308
	利用料収入		0	0		事業費支出	16,399	14,719	1,680
	寄付金収入		0	0					
	特別保育事業収入	1,777	1,667	110					
	雑収入	2,235	3,965	▲ 1,730					
	受取利息配当金収入	22	22	0					
施設設備等収入			0	0	施設設備等支出	固定資産取得支出	8,087	8,942	▲ 855
財務活動収入	借入金元金償還補助金収入		0	0	財務活動支出	設備資金借入金償還金支出		0	0
						積立預金積立支出	4,600	4,900	▲ 300
						その他の支出		0	0
繰入金収入		0	0	0	繰入金支出		0	0	0
収入計		134,491	127,136	7,355	支出計		134,461	126,932	7,529
収支差額		**30**	**204**	**▲ 174**					

(4)障害福祉サービス事業所《金沢若草園》

平成26年度は、知的障害者の多機能サービス事業所として、より良いサービスの充実を図るとともに、第二グループホームを設置し、社会自立に向けて地域と連携を図りながら利用者のニーズに沿った支援の展開を図った。

さらに、クリーニング事業の見直しを行い、より効率的な事業の運営を行うことで利用者の社会的経済活動への積極的な参画と自立に向けた就労支援に取り組んだ。

本年度の事業報告及び決算は次の通り。

ア. 事業報告

	定員	開所日数	年間延利用実績(人)			稼働率(%)	
			今年度	前年度	前年比増減	今年度	前年度
生活介護事業	12	316	3,063	1,187	1,876	80.8%	75.2%
就労移行支援事業	6	316	1,612	4,784	▲ 3,172	85.0%	104.9%
就労継続支援B型事業	32	316	8,876	9,255	▲ 379	87.8%	100.0%
就労継続支援A型事業	10	316	2,239	858	1,381	70.9%	26.9%
短期入所事業(単独型)	6	316	694	962	▲ 268	36.6%	55.5%
共同生活援助事業　キンモクセイ	6	365	1,879	2,038	▲ 159	85.8%	93.1%
共同生活援助事業　ゆず	6	121	535	0	535	73.7%	−
総計	78		18,898	19,084	▲ 186	−	−

＊共同生活援助事業　グループホームゆずは、平成26年12月1日より事業開始。

イ. 金沢若草園決算概要(総合)

(単位:千円)

区　分	収　入				支　出			
	決算額		前年度決算額	前年比増減	決算額		前年度決算額	前年比増減
就労支援事業活動の部	就労支援事業収入	83,770	83,101	669	就労支援事業支出	72,386	85,462	▲ 13,076
	収入計	83,770	83,101	669	支出計	72,386	85,462	▲ 13,076
福祉事業活動の部	利用料収入	117,385	122,767	▲ 5,382	人件費	103,608	104,916	▲ 1,308
	地代収入	0	0	0	事務費	26,048	23,138	2,910
	寄付金収入	0	0	0	事業費	10,215	12,038	▲ 1,823
	雑収入	1,255	7,624	▲ 6,369	借入金利息支出	1,176	1,034	142
	退職給与取崩収入	886	1,684	▲ 798				
	補助事業等収入	17,980	21,385	▲ 3,405				
	受取利息配当金収入	27	31	▲ 4				
	収入計	137,533	153,491	▲ 15,958	支出計	141,047	141,126	▲ 79
施設整備等	施設整備等補助金収入	0	0	0	固定資産取得支出	4,823	746	4,077
	固定資産売却収入	0	0	0	建設仮勘定支出	0	0	0
	収入計	0	0	0	支出計	4,823	746	4,077
財務活動の部	借入金収入＊	0	108,700	▲ 108,700	積立金積立支出	12,119	0	12,119
	積立金取崩収入	0	0	0	借入金償還金支出	10,668	10,848	▲ 180
	借入金元金償還金補助金収入	10,680	10,680	0				
	収入計	10,680	119,380	▲ 108,700	支出計	22,787	10,848	11,939
	収　入　合　計	231,983	355,972	▲ 123,989	支　出　合　計	241,043	238,182	2,861
当期資金収支差額		▲ 9,060	117,790	▲ 126,850				
前期末支払資金残高		138,977						
当期末支払資金残高		129,917						

＊H24年度施設整備にかかる福祉医療機構からの借入金は、第1回目としてH25年1月15日に51,500千円の交付を受け、
第2回目としてH25年5月15日に108,700千円が交付された。(借入金の総額は160,200千円)
なお、この借入金160,200千円の元金償還については、神奈川県からH25年度よりH39年度までの償還期間の15年にわたり補助を受ける予定である。
また、H26年度において交付金は存在しない。

(5)重症心身障害児(者)施設サルビア

重症心身障害児(者)施設サルビアは、平成19年5月より入所事業を開始し、前年度に引き続き、超重症児者を中心とした入所を積極的に行った。また、急性疾患加療目的や院内他科の併診を含めた外科系疾患の入院も行った。

ア. 事業報告(年間開園日　　365　日)

事業種別	サービス種別	定員	延人数実績	前年度実績	前年比増減	稼働率	前年度稼働率
障害児入所施設	医療型障害児入所施設事業	40名	4,826　名	12,241　名	▲　115	83%	83.8%
障害福祉サービス	療養介護事業		7,300　名				
	短期入所事業	4名	1,296　名	1,497　名	▲ 201	89%	102.5%

平成19年4月1日開所、重症心身障害児(者)施設事業は平成19年5月1日より、短期入所事業は平成20年2月1日より入所開始。

平成24年4月1日より重症心身障害児(者)施設の事業体系が医療型障害児入所施設及び療養介護事業へ変更。

イ. 重症心身障害児(者)施設サルビア決算概要(総合)　　(単位:千円)

収入				支出			
科目	決算額	前年度決算額	前年比増減	科目	決算額	前年度決算額	前年比増減
医業収入	419,778	438,282	▲ 18,504	事務費支出	413,914	423,921	▲ 10,007
(入院収入)	412,762	433,027	▲ 20,265	(人件費)	374,726	383,139	▲ 8,413
(外来収入)	7,013	5,256	1,757	(業務委託費)	23,700	20,507	3,193
(医業外収入)	3	0	3	(その他)	15,488	20,025	▲ 4,537
支援費収入	110,875	114,819	▲ 3,944	事業費支出	71,465	73,385	▲ 1,920
補助金収入	140,350	146,803	▲ 6,453	元利償還金	211	223	▲ 12
その他	43,289	41,902	1,387	その他	12	9	3
収入計	714,292	741,806	▲ 27,514	支出計	485,602	497,538	▲ 11,936
収支差額	**228,690**	**244,268**	**▲ 15,578**				

8. 居宅介護サービス施設事業報告及び決算

(1) 事業報告

高齢者などが住み慣れた地域社会で安心して家族や近隣の人々とともに生活できるよう、デイサービス事業等を実施した。

横浜市菅田地域ケアプラザ	横浜市港南台地域ケアプラザ	横浜市六浦地域ケアプラザ	横浜市能見台地域ケアプラザ	平塚市袖ケ浜デイサービスセンター
(1) 地域交流では、区委託事業「地域づくりデビュー講座」として「調理ボランティア講座」を開催した。講座終了後、6名がふれあい喫茶(コミュニティカフェ)で一品料理を提供し、ボランティアデビューした。	(1) デイサービスでは、機能訓練をかねた個別のレクリエーションを試験的に行った。個人の能力の把握にもつながり今後の計画にも組み入れる予定。	(1) 利用者が安全で快適に施設利用できるよう、行き届いた清掃や換気・採光に努めた。また、インフルエンザやノロウイルス等感染対策では利用者にも協力を求め実施した。	(1) デイサービスでは利用者への売りの一つに趣味活動があり、「刺し子」など、利用者さんの個別性にあわせた活動を展開するとともに、季節ごとに夏祭りやクリスマス会などのイベントを実施するなど、さまざまな工夫を行いました。また、新規のレクリエーションボランティアグループを多数受け入れ、目新しく飽きのこないプログラムを提供しました。	(1) 平塚七夕祭りでは竹飾りコンクールに出展。手作業の一環と地域の方々が季節を感じられるように取り組んで14回目。悲願の1等賞を受書した。利用者、職員の目標形成に繋がった。
(2) 地域包括支援センターでは高齢化が進む大規模団地内において、自治会、UR都市機構と連携して、月1回出張相談会を開催し、身近な場所で早期に相談できる体制づくりに努めた。	(2) 開所20周年を記念して、地域への感謝をこめて10月11月にイベントを開催した。10月は商業施設で地区社協、区社協と協働して取り組んだ。ボランティア団体の発表会等が行われた。11月はプラザで開催し2日間で約300人が来所され、ボランティア・活動団体の交流会も開催した。	(2) 施設の安全利用と長寿命化の観点から、ディ浴室改修工事を利用者や関係機関への広報と行政との相談協議を進め、円滑に実施できた。	(2) デイ利用者の安全送迎に資するため送迎車両にスタッドレスタイアを導入し、悪天候でも安全な送迎ができるように対策を講じました。	(2) 利用者アンケートの要望内にて銀行引き落とし希望者が多く聞かれた。中重度の利用者も増え家族の安心面からも希望者のみ銀行引き落としを実施した。
(3) 介護予防事業では、自主化へ向けケアプラザ内外でスクエアステップ教室を開催した。また、法人内の医療機関の人的協力を得て健康講座を開催した。	(3) 地域包括では、前年度より取り組んでいる団地に加え同じURの他の団地でも地域ケア会議を開催した。UR団地を含め地域課題の抽出、対策の話し合いを行った。前年度に引き続き住民同士が知り合う場として事業を3回行った。	(3) 横浜市南部エリアの法人内の医療機関や福祉施設等と連携して、地域住民の健康保持を目的として、医師、看護師、薬剤師及び栄養士による医療講座を好評のうちに開催できた。	(3) 地域包括支援センターではキャラバンメイトとともに、高校1年生全クラスを対象に認知症サポーター養成講座を開催し、7年目を迎え卒業生、在校生のべ2000名がサポーターとして養成し認知症への理解が深まりました。また、地域包括ケアシステム構築に向けて地域ケア会議を2回開催しました。	(3) 施設内の特浴浴室を倉庫・脱衣室にレイアウト手続きを申請。入浴後の利用者がゆっくりと更衣できる場、団体ボランティア等の練習の場所、手作業置場等、活動の場を新設した。
(4) デイサービスでは機能訓練士等により個別プログラムを作成し、身体機能の維持、低下を予防できるよう支援した。新たに電動ペダルこぎ等のリハビリ機器を導入した。	(4) 居宅介護支援事業では、ケアマネジメント業務の効率化と事業所内での情報共有に努めた事により担当者以外の利用者への対応もスムーズに行うことができた。	(4) 地域包括ケアシステムの基盤構築のため、区内でもいち早く地域ケア会議を開催できた。また、地域の医療・福祉関係者等の他職種が集まる地域ケアマネジメント研修会も毎月開催できた。	(4) 地域活動交流では、障害児者への理解や心のバリアフリーを目的とした自主事業、高齢者の閉じこもり防止や仲間づくりのための朗読などを行う音読サロンを行い、子育て支援連絡会では発達障害講演会を行いました。	(4) 複合施設内、協同開催の「ふれ愛・なぎさまつり」を実施。袖ケ浜作品展覧会を開催。利用者の1年間取り組まれた作品を展示した。開催毎に作品も増え利用者の作品の取り組みに拍車をかけた。
(5) デイ利用者と2カ月にわたり少しずつ作業を進め、貼り絵の大凧と立体のチャグチャグ馬子を制作。馬の飾りも折り紙等で丁寧に仕上げ、完成した作品をラポール美術展に出展した。		(5) 「介護者の集い」を開催し介護者同士の情報交換や体験談,また医師から医療的な視点での介護の方法を学びました。同じ立場同士の話し合いにより、精神的な負担の軽減を図れました。(月1回開催)	(5) 居宅介護支援事業では、介護保険サービス以外の有料老人ホームの情報がほしいとの利用者のからのニーズに答えて高齢者セミナーを開催しました。	(5)

事業名＼施設名	横浜市菅田地域ケアプラザ				横浜市港南台地域ケアプラザ				横浜市六浦地域ケアプラザ			
	定員等	取扱延数	前年度実績	前年比増減	定員等	取扱延数	前年度実績	前年比増減	定員等	取扱延数	前年度実績	前年比増
デイサービス事業	55 名	10,580 名	10,967 名	▲ 387 名	25 名	5,329 名	6,090 名	▲ 761 名	40 名	10,483 名	10,701 名	▲ 218 名
（稼動率）		53.7 %	56.2 %			59.4 %	67.9 %			73.2 %	75.4 %	
居宅介護支援事業	－	1,233 名	1,238 名	▲ 5 名	－	1,639 名	1,551 名	88 名	－	1,323 名	1,437 名	▲ 114 名
地域包括支援センター事業	－	5,908 名	4,528 名	1,380 名	－	6,015 名	5,459 名	556 名	－	5,608 名	4,194 名	1,414 名
地域交流事業	－	5,404 名	5,557 名	▲ 153 名	－	7,124 名	7,683 名	▲ 559 名	－	6,560 名	5,977 名	583 名
ホール等貸館事業	随時	13,950 名	14,927 名	▲ 977 名	随時	17,596 名	16,579 名	1,017 名	随時	13,482 名	12,596 名	886 名

事業名＼施設名	横浜市能見台地域ケアプラザ				平塚市袖ケ浜デイサービスセンター			
	定員等	取扱延数	前年度実績	前年比増減	定員等	取扱延数	前年度実績	前年比増減
デイサービス事業	40 名	10,486 名	10,790 名	▲ 304 名	25 名	6,200 名	6,597 名	▲ 397 名
（稼動率）		73.2 %	76.0 %			84.6 %	90.4 %	
居宅介護支援事業	－	1,873 名	2,089 名	▲ 216 名				
地域包括支援センター事業	－	6,762 名	5,375 名	1,387 名				
地域交流事業	－	6,229 名	4,730 名	1,499 名				
ホール等貸館事業	随時	9,217 名	9,367 名	▲ 150 名				

(2)居宅介護サービス施設決算概要(総合)

(単位:千

		横浜市菅田地域ケアプラザ			横浜市港南台地域ケアプラザ			横浜市六浦地域ケアプラザ			横浜市能見台地域ケアプラザ			平塚市袖ケ浜デイサービスセンタ		
		決算額	前年度決算額	前年比増減	決算額	前年度決算額	前年比増減	決算額	前年度決算額	前年比増減	決算額	前年度決算額	前年比増減	決算額	前年度決算額	前年比増
収入	居宅介護料収入	105,779	112,399	▲ 6,620	51,155	60,358	▲ 9,203	89,578	99,693	▲ 10,115	91,278	97,052	▲ 5,774	58,687	60,657	▲ 1,
	居宅介護支援介護料収入	23,613	23,904	▲ 291	24,942	24,118	824	32,692	32,710	▲ 18	34,304	37,604	▲ 3,300			
	利用者等利用料収入	7,372	7,191	181	3,504	4,177	▲ 673	7,342	7,455	▲ 113	7,634	8,016	▲ 382	4,342	4,593	▲
	その他の事業収入	43,167	43,058	109	49,558	47,180	2,378	46,426	45,178	1,248	44,961	44,925	36	5,946	7,008	▲ 1,
	寄付金収入	0	0	0	115	0	115	0	0	0	0	100	▲ 100		0	
	雑 収 入	10	21	▲ 11	244	168	76	4,274	4,327	▲ 53	1,832	1,706	126	451	363	
	施設整備等収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	財務活動等収入	7,378	4,096	3,282	5,329	3,709	1,620	0	0	0	1,105	1,497	▲ 392	11	6	
	(任意積立預金取崩)	(720)	(1,221)	▲ 501	(1,325)	(0)	1,325	(0)	(0)	0	(792)	(1,062)	▲ 270		(0)	
	収 入 計	187,319	190,669	▲ 3,350	134,847	139,710	▲ 4,863	180,312	189,363	▲ 9,051	181,114	190,900	▲ 9,786	69,437	72,627	▲ 3,
支出	人件費支出	137,512	139,854	▲ 2,342	94,068	97,318	▲ 3,250	128,901	129,904	▲ 1,003	130,531	132,979	▲ 2,448	41,162	40,545	
	事 務 費	18,381	19,933	▲ 1,552	24,214	22,149	2,065	31,837	31,707	130	21,712	22,278	▲ 566	12,297	12,289	
	事 業 費	24,119	23,587	532	11,490	11,616	▲ 126	19,783	18,068	1,715	24,747	24,147	600	14,738	15,660	▲
	借入金利息支出	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0			
	介護サービス減免分	147	132	15			0	158	52	106	0	0	0			
	予 備 費	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0			
	施設整備等支出	1,360	1,612	▲ 252		0	0	0	0	0	0	0	0			
	財務活動等支出	5,540	2,606	2,934	4,614	4,906	▲ 292	1,837	3,539	▲ 1,702	1,552	1,847	▲ 295	1,200	1,200	
	(任意積立預金繰入)	(0)	(0)	0	(1,325)	(0)	1,325	(0)	(0)	0	(0)	(0)	0		(0)	
	支 出 計	187,059	187,724	▲ 665	134,386	135,989	▲ 1,603	182,516	183,270	▲ 754	178,542	181,251	▲ 2,709	69,397	69,694	▲
収支差額		260	2,945	▲ 2,685	461	3,721	▲ 3,260	▲ 2,204	6,093	▲ 8,297	2,572	9,649	▲ 7,077	40	2,933	▲ 2,

9. 訪問看護施設事業報告及び決算

家庭で療養されている方のために、主治医の指示を受けて定期的に訪問し、看護サービスを行うとともに、住み慣れた家や地域社会の中で本人や家族の望む生活ができるよう努めた。また、ケアプランの策定や訪問看護をとおして、各家庭で必要な福祉サービスを提供できるよう支援した。

(1) 事業報告

施設名 / 事業名	かながわ訪問看護ステーション			南部訪問看護ステーション			わかくさ訪問看護ステーション		
	取扱延数	前年度	前年比増減	取扱延数	前年度	前年比増減	取扱延数	前年度	前年比増減
訪問看護登録者数	139 名	117 名	22 名	445 名	447 名	▲ 2 名	87 名	102 名	▲ 15 名
訪問看護利用者数	1,572 名	1,422 名	150 名	3,310 名	3,226 名	84 名	1,099 名	1,182 名	▲ 83 名
訪問看護延回数	10,232 回	9,826 回	406 回	16,986 回	15,095 回	1,891 回	6,486 回	6,444 回	42 回
居宅介護支援事業	523 名	353 名	170 名	1,280 名	1,105 名	175 名			
老人デイサービス事業				990 名	1,014 名	▲ 24 名			

施設名 / 事業名	平塚訪問看護ステーション		
	取扱延数	前年度	前年比増減
訪問看護登録者数	61 名	81 名	▲ 20 名
訪問看護利用者数	540 名	569 名	▲ 29 名
訪問看護延回数	2,577 回	2,863 回	▲ 286 回
居宅介護支援事業	1,245 名	1,200 名	45 名

(2)訪問看護ステーション決算概要(総合)

(単位:千円)

		かながわ訪問看護ステーション			南部訪問看護ステーション			わかくさ訪問看護ステーション			平塚訪問看護ステーション		
		決算額	前年度決算額	前年比増減	決算額	前年度決算額	前年比増減	決算額	前年度決算額	前年比増減	決算額	前年度決算額	前年比増減
収入	介護保険収入	86,523	78,327	8,196	155,179	143,800	11,379	46,818	45,136	1,682	42,063	41,864	199
	老人訪問看護事業収入	22,670	20,950	1,720	17,754	14,311	3,443	14,396	11,730	2,666	710	902	▲ 192
	訪問看護療養費収入	5,277	3,241	2,036	26,706	24,014	2,692	5,439	8,369	▲ 2,930	1,763	3,185	▲ 1,422
	老人訪問看護利用料収入	771	496	275	2,320	1,657	663	1,346	1,040	306	118	96	22
	訪問看護利用料収入	1,248	1,030	218	3,272	2,916	356	457	525	▲ 68	174	43	131
	その他の事業収入	0		0	923	116	807	0	0	0	340	322	18
	事業外収入	178	90	88	289	1,102	▲ 813	31	69	▲ 38	271	141	130
	特別利益	0	0	0	1,634	1,323	311	0	0	0	2,615	25	2,590
	収入計	116,667	104,134	12,533	208,077	189,239	18,838	68,487	66,869	1,618	48,054	46,578	1,476
支出	給与費	105,348	87,350	17,998	155,356	145,121	10,235	51,369	45,312	6,057	43,984	38,116	5,868
	材料費	146	131	15	0	0	0	166	315	▲ 149	32	70	▲ 38
	経費	14,181	11,567	2,614	26,634	24,438	2,196	5,879	5,530	349	3,270	6,199	▲ 2,929
	委託費	502	789	▲ 287	986	1,132	▲ 146	1,181	1,376	▲ 195	1,098	0	1,098
	研修費	137	69	68	19	40	▲ 21	222	182	40	152	134	18
	減価償却費	0	0	0	1,872	1,976	▲ 104	802	644	158	182	210	▲ 28
	消費税等負担金	59	94	▲ 35	118	108	10	42	32	10	27	16	11
	本・支部費	328	313	15	590	495	95	198	165	33	129	125	4
	事業外費用	0	0	0	0	6	▲ 6	0	0	0	0	0	0
	特別損失	4,621	140	4,481	33	135	▲ 102	0	0	0	63	98	▲ 35
	支出計	125,322	100,453	24,869	185,608	173,451	12,157	59,859	53,556	6,303	48,937	44,968	3,969
収支差額		▲ 8,655	3,681	▲ 12,336	22,469	15,788	6,681	8,628	13,313	▲ 4,685	▲ 883	1,610	▲ 2,493

10. 平成26年度　神奈川県済生会決算総括表

（単位：千円）

区　分	総決算額	内訳					前年度総決算額	前年比増減
		一般会計			特別会計			
		支部会計	病院会計	福祉会計	公益事業会計	支部会計		
収　入	47,565,999	210,483	44,276,998	2,528,419	441,285	108,814	45,950,554	1,615,445
支　出	46,674,128	189,718	43,717,866	2,295,773	419,726	51,045	44,950,497	1,723,630
当期利益	891,871	20,765	559,132	232,646	21,559	57,769	1,000,057	▲ 108,186

＜施設内訳表＞

区　分	一般会計												
	支部会計	病院					病院計	福祉（老健・特養・保育・障害者支援・重心）					福祉
		横浜市東部病院	神奈川県病院	横浜市南部病院	若草病院	平塚病院		湘南苑	若草ホーム	保育園	若草園	東部重症心身障害児（者）施設　サルビア	
収　入	210,483	21,705,739	4,014,703	14,063,784	2,753,955	1,738,817	44,276,998	317,382	377,242	134,491	231,983	714,292	1,77
支　出	189,718	20,805,057	4,393,158	13,967,070	2,730,666	1,821,915	43,717,866	324,211	358,556	134,461	241,043	485,602	1,54
当期利益	20,765	900,682	▲ 378,455	96,714	23,289	▲ 83,098	559,132	▲ 6,829	18,686	30	▲ 9,060	228,690	23

区　分	一般会計						特別会計							総合計
	福祉（ケアプラザ・デイサービスセンター）					福祉計②	公益事業（訪問看護ステーション）				公益事業計	支部会計（財政調整基金）	支部会計（職員医療共済）	支部特別会計（収益事業）	
	菅　田	港南台	六　浦	能見台	袖ケ浜		かながわ	南　部	わかくさ	平　塚					
収　入	187,319	134,847	180,312	181,114	69,437	753,029	116,667	208,077	68,487	48,054	441,285	57,027	49,885	1,902	47,565,999
支　出	187,059	134,386	182,516	178,542	69,397	751,900	125,322	185,608	59,859	48,937	419,726	5	49,138	1,902	46,674,128
当期利益	260	461	▲ 2,204	2,572	40	1,129	▲ 8,655	22,469	8,628	▲ 883	21,559	57,022	747	0	891,871

11. 利益剰余金の状況

（単位：千円

区分	一般会計											
	支部会計	病院					病院計	福祉（老健・特養・保育・障害者支援・重心）					福祉計(
		横浜市東部病院	神奈川県病院	横浜市南部病院	若草病院	平塚病院		湘南苑	若草ホーム	保育園	若草園	東部重症心身障害児（者）施設　サルビア	
前期繰越剰余金	0	▲ 1,793,787	▲ 4,289,574	2,591,605	▲ 2,092,158	▲ 955,334	▲ 6,539,248	26,193	259,930	18,042	138,975	1,141,537	1,584,6
当期剰余金	20,765	900,682	▲ 378,455	96,714	23,289	▲ 83,098	559,132	▲ 6,829	18,686	30	▲ 9,060	228,690	231,5
次期繰越剰余金	20,765	▲ 893,104	▲ 4,668,029	2,688,319	▲ 2,068,869	▲ 1,038,432	▲ 5,980,115	19,364	278,616	18,072	129,915	1,370,227	1,816,1

区分	一般会計						特別会計							総合計
	福祉（ケアプラザ・デイサービスセンター）					福祉計②	公益事業（訪問看護ステーション）				公益事業計	支部会計（財政調整基金）	支部会計（職員医療共済）	支部特別会計（収益事業）	
	菅田	港南台	六浦	能見台	柚ケ浜		かながわ	南部	わかくさ	平塚					
前期繰越剰余金	142,356	14,675	211,249	133,611	62,362	564,253	111,494	107,717	53,647	5,746	278,604	368,642	135,346	▲ 656	▲ 3,608,382
当期剰余金	260	461	▲ 2,204	2,572	40	1,129	▲ 8,655	22,469	8,628	▲ 883	21,559	57,022	747	0	891,871
次期繰越剰余金	142,616	15,136	209,045	136,183	62,402	565,382	102,839	130,186	62,275	4,863	300,163	425,664	136,093	▲ 656	▲ 2,716,510

＊一般会計の支部会計次期繰越剰余金は、理事会承認後、特別会計の支部会計（財政調整基金）へ資金移動。